



SICAT FUNCTION バージョン2.0.40

取扱説明書 | 日本語 | SIDEXIS 4

目次

1	使用目的と適応症	6
2	臨床的有用性	7
3	バージョン履歴	8
4	システム要件	. 10
5	安全に関する情報	. 13
	5.1 危険レベルの定義	. 14
	5.2 オペレーターの資格	. 15
6	使用するアイコンおよび強調	. 16
7	取扱説明書の概要	. 17
8	SICAT Suiteの概要	. 18
9	インストールの概要	. 20
10	SICATSuiteのセットアップを開始する	. 21
	10.1 ワークステーションのインストールとしてのインストール	. 23
	10.2 SICAT Suiteのインストール	. 25
11	OSアップデートの確認手順を実行する	. 29
12	SICAT Suiteの更新、修復	. 30
13	このバージョンでの特徴	. 32
14	SICAT Functionの標準ワークフロー	. 35
15	SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する	. 39
16	SIDEXIS 4のSICAT Function撮影結果	. 41
17	SICAT Suite をスタートする	. 43
18	SICAT Suiteのユーザーインターフェース	. 45
19	SICATのアプリケーションを相互に切り替える	. 46
20	取扱説明書を開く	. 47
21	ライセンス	. 48
	21.1 「ライセンス」のウィンドウを開く	. 51
	21.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする	. 52
	21.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする	. 54
	21.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する	. 56
	21.5 ネットワークライセンスを有効にする	. 58

22 SICAT Functionのユーザーインターフェース	60
22.1 ワークフローのツールバー	62
22.2 オブジェクトバー	64
22.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理	66
22.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理	68
22.5 SICAT Functionオブジェクト	70
23 ワークスペース	72
23.1 パノラマワークスペースの概要	73
23.2 TMJワークスペースに関する概要	75
23.3 MPR/放射性ワークスペースの概要	77
23.4 ワークスペースを切り替える	78
23.5 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット	79
23.6 ワークスペースのスクリーンショットを作成する	80
24 ビュー	81
24.1 ビューの調整	82
24.2 アクティブなビューの切り替え	84
24.3 ビューの最大化および復元	85
24.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット	86
24.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動	88
24.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール	89
24.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示	90
24.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化	91
24.9 ビューの傾斜	93
24.10ビューをリセットする	94
24.11画像のスクリーンショットを作成する	95
25 3Dビューの調整	96
25.1 3Dビューの目線を変更する	97
25.2 3Dビューの表示タイプ	99
25.3 3Dビューの表示タイプを切り替える1(02
25.4 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する10	03
25.5 切り抜きを移動する10	05
25.6 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする1(07
26 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する10	08
26.1 ボリュームの配置を調整する1	11
26.2 パノラマエリアを調整する1	16

27 顎運動データ	120
27.1 互換性のある顎運動撮影機器	121
27.2 顎運動データをインポートして記録する	122
28 セグメンテーション	127
28.1 下顎骨をセグメントする	128
28.2 窩をセグメントする	131
29 光学印象	134
29.1 光学印象をインポートする	136
29.1.1 Hubから光学印象をダウンロードする	137
29.1.2 ファイルから光学印象をインポートする	141
29.1.3 SIDEXIS 4から光学印象を転送する	144
29.1.4 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する	146
29.2 光学印象の記録と確認	148
30 解剖学的な咬合	152
30.1 顎運動と連携する	153
30.2 3Dビューで運動の軌跡を表示する	156
30.3 検査ウィンドウにより運動の軌跡を調整する	157
30.4 レイヤービューで十字線により運動の軌跡を調整する	158
31 TMJワークスペースの各種機能	159
31.1 軌跡点を移動する	160
31.2 上下顎中切歯の交点をセットする	161
31.3 Bonwillの三角を利用する	162
31.4 セグメンテーション限度の表示	163
31.5 下顎頭方向の運動を表示する	164
32 咬合器值	165
32.1 下顎頭が視認可能な時に咬合器値を読み込む	169
32.2 下顎頭が視認不可能な時に咬合器値を読み込む	171
33 距離/角度測定	173
33.1 距離測定を追加する	174
33.2 角度測定を追加する	175
33.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する	177
34 データエクスポート	179
35 注文プロセス	180
35.1 治療位置の設定	181
35.2 スプリントをショッピングカートに入れる	183

35.3	カートを開く	187
35.4	カートをチェックして、注文プロセスを完了する	188
35.5	インターネット接続を使用した注文の終了	189
35.6	SICATポータルでの注文手順	190
35.7	SICAT WebConnector	191
35.8	インターネット接続を使用しない注文の終了	193
設定		197
36.1	一般設定の使用	198
36.2	SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション	200
36.3	歯科医院情報の使用	202
36.4	Hub接続状態を表示する	203
36.5	可視化設定の変更	204
36.6	SICAT Function設定の変更	206
サポ・	– F	207
37.1	サポート態勢のページを開く	208
37.2	連絡先情報およびサポートツール	209
37.3	インフォメーション	210
デー	タを書き込み禁止で開く	211
SICA	T Suiteを閉じる	212
ショ・	ートカットキー	213
SICA.	T Suiteのアンインストール	214
-		217
安全	こ関する注意事項	215
精度		222
用語	集	223
	35.3 35.4 35.5 35.6 35.7 35.8 36.1 36.2 36.3 36.4 36.5 36.4 37.1 37.2 37.3 デーン SICA タロー 名 のの の の の の の の の の の の の の の の の の の	35.3 カートを開く

1 使用目的と適応症

使用目的

SICAT Functionは口腔顎顔面領域の画像情報の視覚化とセグメンテーションと顎運動の表示を行 うソフトウェアです。画像情報は医療スキャナ(CT/CBCT/光学印象システムスキャナなど)で 取得します。運動情報はコンダイログラフ装置などで取得します。SICAT Functionは、口腔顎顔 面外科(MKG)領域における評価、診断、治療計画および咀嚼器官の問題の治療計画を行う資格 のある歯科医をサポートするものです。計画データはSICAT Functionからエクスポートすること ができ、治療の実施のために使用されます。

適応症

SICAT Functionは、次の診断や計画に使用するソフトウェアアプリケーションです。

- 口腔顎顔面領域における歯科診断のサポート
- 顎関節機能障害の場合の診断と治療計画のサポート
- スプリントによる診断と治療計画のサポート
- 機能回復のための診断と治療計画のサポート

禁忌

禁忌はありません。

ただし、SICAT Functionは、さまざまな医療用製品の使用を必要とする治療ワークフロー内で使用されます。これらの製品については、製造元の取扱説明書に従った禁忌を遵守する必要があります。

患者の対象グループ

患者の対象グループの除外基準はありません。

ただし、SICAT Functionは、さまざまな医療用製品の使用を必要とする治療ワークフロー内で使用されます。これらの製品については、製造元の取扱説明書に従った患者の対象グループを含む 適応症を遵守する必要があります。

対象ユーザー

対象ユーザーは専門知識のある有資格者です。SICAT Functionでは、これらは歯科医です。

2 臨床的有用性

SICAT Functionの使用により、統合されたCTデータ、光学印象データ、および顎の動きのデータ に基づいて、口腔顎顔面領域の診断/治療をサポートできます。測定された顎の動きと顎の位置 は、CTデータと光学印象データに転送できます。患者ごとに異なる顎の位置、顎の動きと軌跡、 および顎関節の位置などの診断/治療関連の情報を視覚化してエクスポートできます。

用途に即したSICAT Functionの使用によって、患者様が、様々なモダリティからの解剖学的な情報を個別に使用する代わりにそれらを組み合わせて使用することで、包括的な情報に基づく治療を可能にします。モダリティは、患者様固有の顎運動からの動的情報も含めた、正しい空間アライメントです。

3 バージョン履歴

バージョン2.0.40

SICAT Suiteは、ローカルまたはサーバーに基づく患者データバンク(スタンドアロンバージョン)で操作できます。

バージョン2.0.20

■ 自動データインポートによるパラメータ経由の呼出し(スタンドアロンバージョン)

バージョン2.0

- Hubは、光学印象をインポートおよび記録するための追加オプションとして利用できます。
- Sidexis 4にインポートされたSTLファイルは、光学印象のインポートと記録に使用できます。
- Hubからロードした場合、もしくはSIXDファイルからインポートした場合は、光学印象を色 付けできます。
- アプリケーションごとに、ボリューム調整の修正とパノラマ曲線の調整を別々に設定できます。
- パノラマビューでは、検査ウィンドウを最大化することができます。
- パノラマワークスペースの横方向と縦方向のビューは傾斜させることができます。
- SICATアプリケーションは、ワークステーションライセンスまたはネットワークライセンスのどちらでもオプションで使用できます。
- SICAT Suiteは、Sidexis 4またはスタンドアロンと共に使用できます。

バージョン1.4

- SICATアプリケーションには登録要件の理由により、ビューアモードでもライセンスが必要です。アプリケーションをライセンスなしで使用することはできません。SICATは使用国で許可されているアプリケーションのビューアライセンスを顧客アクティベーションキーに自動的に追加します。任意のライセンスを無効にして再度有効にすることにより、ビューアライセンスを有効にすることができます。これに関する情報は*ライセンス [トページ 48]*を参照してください。
- 取扱説明書はスタンドアロン版内でもSIDEXIS XGプラグイン形式の使用時でもPDFファイル として参照可能です。
- SICAT Functionで顎運動データから顎関節の仮想蝶番軸を算出することができます。
- SICAT Functionはボンウィル三角の辺の長さを表示し、バルクウィル角を計算します。

VERSION 1.3

- SIDEXIS 4のモジュールを追加
- 表記言語をイタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、ロシア語でサポート
- このバージョンより、SICAT Functionのバージョン番号がSICAT Suiteのバージョン番号と一
 致
- 顎関節症治療用スプリントについて、石膏模型を製作してからの注文を選択可能とする
- TMJ- セグメント化した下顎頭の運動を表示するワークスペース
- セグメント化のウィンドウを閉じた後でも、セグメント化の編集を続行可能とする

バージョン1.1

- 表記言語をフランス語と日本語でサポート
- ボリュームの配置の補正機能を追加
- OPTIMOTION スプリントの注文
- 顎運動データのフォーマットを.jmt形式のファイルに変更
- 顎運動の軌跡とまとめて光学印象をエキスポートする機能を追加

バージョン1.0

- 初版発行
- 表記言語を英語とドイツ語でサポート

▲ 注意	お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果と して、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能 しない可能性があります。 ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウ	
プロセッサー	±//// 1/±/ 4	
グラフィックカー	- ۴	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ:2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプ レイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバー ジョンを使用できること
ディスプレイ		画面解像度:画素密度が100%~125%のと き、1920×1080ドット以上** 画面解像度:画素密度が100%~200%のと き、3840×2160ドット以下**
ヽードディスクの	D空き容量	40 GB
記憶媒体		インストールファイルが保存された外部記憶 媒体へのアクセス
入力装置		キーボード、マウス
ネットワーク		イーサネット、1 Gbit/s
患者教化用プリン	ノター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティング	ブシステム	Windows 10(64ビット版、デスクトップ) これらのオペレーティングシステムは、マイ クロソフト社がサポートを継続する期間内で サポートされます。

ウェブブラウザ	Microsoft Edge
	Mozilla Firefox
	Google Chrome
	JavaScriptが有効になっていること。
	標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
Hub	バージョン2.X、バージョン2.1以降
SIDEXIS 4	バージョン4.3.1以降(SiPlanAPI V5)



ソフトウェア要件

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネント が未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います:

- CodeMeterライセンス管理ソフト7.21a
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポート はファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
НТТР	送信	80
HTTPS	送信	443
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152~65534



SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに 関する情報は*注文プロセス [*> ページ 180]を参照してください。

5 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- 危険レベルの定義 [>ページ14]
- オペレーターの資格 [>ページ 15]
- 安全に関する注意事項 [▶ページ 215]

本製品に関連して重大な事故(重傷など)が発生した場合は、製造元および管轄当局に報告する 必要があります。

5.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物 的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用し ています。



5.2 オペレーターの資格



ソフトウェアの使用には、以下の条件が揃っている必要があります。

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。

6 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。

この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト:

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

- ☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。
- 1. 手順には番号が付けられています。
 - ▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。
- 2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。
- 3. **オプションまたは条件付きステップ:**オプションまたは条件付きステップでは、ステップの 目標または条件の前にコロンが付きます。
- ▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。
 - 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

患者情報

表示されている例の患者名は架空のものです。したがって、実在の人物との類似点はまったく偶 然の一致です。特に、例の患者名と表示された患者データとの間に相関関係はありません。

7 取扱説明書の概要

SICAT Functionは、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。 SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各 種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [* ページ 25]を参照してください。

インストール後、SICAT Suiteは二つの方法で使用できます:

- スタンドアロン版
- SIDEXIS 4のモジュールを追加

SICAT Suiteをインストールすると、1つのバージョンのみを使用する場合でも、両方のバージョンが常にインストールされます。

一部の操作手順がバージョンによって異なるため、2つのバージョンには個別の取扱説明書が用 意されています。使用するSICAT Suiteバージョンの使用に適切な取扱説明書を必ず使用してくだ さい。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する 情報は*SICAT Suiteのアンインストール [トページ 214]*を参照してください。

8 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは以下のアプリケーションを含みます。

- SICAT Implant SICAT Implantの使用目的については、SICAT Implantの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Function SICAT Functionの使用目的については、SICAT Functionの取扱説明書をご 参照ください。
- SICAT Air SICAT Airの使用目的については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo SICAT Endoの使用目的については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語
- デンマーク語
- スウェーデン語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページ からアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。



お住まいの国でSuite製品のサブスクリプションが利用できる場合は、その 設定方法や利用方法に関する個別の情報を入手できます。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。
- 最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効な場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- SICAT Suiteをインストールするときに、1つのモードに決定する必要はありません。
- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはスタートしません。

9 インストールの概要

SICAT Suiteは、使用場所の要件とインフラストラクチャに応じて、スタンドアロンバージョンまたはSIDEXIS 4の拡張モジュールとしてさまざまなアプリケーションシナリオで使用できます。

SICAT Suiteセットアップは、インストールの種類に対応するオプションを提供します。SICAT Suiteを拡張モジュールとしてSIDEXIS 4にインストールするには、ワークステーションとしての インストールのみが関連します。スタンドアロンバージョンは常にインストールされます。

ワークステーションとしてインストールする場合、SICAT Suiteセットアップは、個々のソフトウ ェアコンポーネントに対して次のインストールプログラムを自動的に次々と呼び出します。

- すべてのアプリケーション(SICAT Implant、SICAT Function、SICAT Air、SICAT Endo)を 備えたSICAT Suite
- SICAT Implantデータベース

SICAT SuiteをSIDEXIS 4の拡張モジュールとして使用する場合、患者ファイルはSIDEXIS 4によって管理されます。

10 SICATSUITEのセットアップを開始する



SICAT Suiteのセットアップは、必要なすべてのソフトウェアコンポーネントを次々にインストー ルします。

- ☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。
 これに関する情報はシステム要件 [▶ページ10]を参照してください。
- ☑ SICAT Suiteは、SICATのウェブサイトからダウンロードできます。
- 1. SICATのウェブサイトからZIPファイルをダウンロードしてください。



- 2. SICAT SuiteをインストールするコンピュータでZIPファイルを解凍します。
- 3. 解凍したSICAT SuiteのフォルダをWindowsのエクスプローラで開きます。
- 4. Setup.exeファイルを起動します。

▶ SICAT Suiteのセットアップが起動し、はじめにのウィンドウが開きます。



- 5. SICAT Suiteのセットアップで使用する言語は、お好みのものを、**はじめに**ウィンドウの右 上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。
 - ▶ 選択された言語は、インストール全体で使用されます。アンインストールの種類のウィンドウが開きます。

セットアップでは、SICAT Suiteをさらにインストールするために次のオプションが提供されます。

- シングルユーザーのインストールとしてのローカルな患者データ管理を使用したインストール
- サーバーおよびワークステーションのインストールとしてのサーバーに基づく患者データバンクを使用したインストール

SICAT Suiteを拡張モジュールとしてSIDEXIS 4にインストールするには、ワ ークステーションインストールとしてのインストールのみが関連します。 これに関する情報は*ワークステーションのインストールとしてのインスト* ール [▶ ページ 23]を参照してください。

10.1 ワークステーションのインストールとしてのインスト ール

SICAT Suiteを拡張モジュールとしてSIDEXIS 4にインストールするには、インストールをワーク ステーションとして選択します。

> SIDEXIS 4および後にSICAT Suiteをインストールする際に、インストール中 にSICAT SuiteをSIDEXIS 4モジュールで記録することができます。これによ り、SICAT Suiteを統合してSIDEXIS 4に使用できます。



ワークステーションのインストール

- ☑ SICAT Suiteはサーバー環境にインストールされます。
- ☑ SICAT Suiteは、ワークステーションにインストールされます。
- ☑ SICAT Suiteのセットアップが開始されました。これに関する情報は*SICATSuiteのセットアップを開始する* [▶ページ 21]を参照してください。

		SICAT SUITE
はじめに	インストールの種類の選択	
アンインストールの種類	ローカルな患者データ管理とサーバーに基づく患者データ	バンクから選ぶことができます。
進捗状況	ローカルな患	者データ管理
	 ○ シングルユーザーのインストール 患者データをこのコンピュータのみで保存してい。 	て使用する場合には、このインストールの種類を選んでくださ
<u>j</u>	サーバーに基づく サーバーに基づく患者データバンクは、セットアップされたネット を利用できることを前提としています。	患者データバンク ワークを通してサーバーと少なくとも一台のワークステーション
	○ サーバーのインストール	 ワークステーションのインストール
R	思者データバンクが保存されるサーバーに このインストールを利用してください。	SICAT Suiteの使用を考えている全ての ワークステーションではこのインストールをご 利用ください。
	中止する	戻る次へ

1. アンインストールの種類ウィンドウで、ワークステーションのインストールオプション欄を サーバーに基づく患者データバンクエリアで選択し、次へをクリックします。

▶ 進捗状況のウィンドウが開きます。

	SICAT SUITE
はじめに	ワークステーションのインストール
アンインストールの種類	次のコンポーネントが、現在、相前後してインストールされています:
進捗状況	
要約	SICAT Suite
	(1) 保留中
	SICAT Implantデータベース
	₩ 保留中
	中止する 戻る インストールする

- ▶ インストールするソフトウェアコンポーネントが表示されます。
- 2. **インストールする**のボタンをクリックします。
 - ▶ インストールプロセスが開始されます。インストール中は、 アイコンが表示されます。
 - ▶ ワークステーションのインストールに必要なソフトウェアコンポーネントのそれぞれの インストーラーが、次々と呼び出されます。 SICAT Suiteのインストール [▶ページ 25] SICAT Implantデータベースのインストール
 - ▶ インストールが完了すると、**要約**のウィンドウが開きます。
 - ▶ ソフトウェアコンポーネントが正常にインストールされると、√アイコンが表示されます。
- 3. 終了するのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteのセットアップが終了します。

10.2 SICAT SUITEのインストール

SIDEXIS 4および後にSICAT Suiteをインストールする際に、インストール中にSICAT SuiteをSIDEXIS 4モジュールで記録することができます。これにより、SICAT Suiteを統合してSIDEXIS 4に使用できます。

SICAT Suiteを最初にインストールしてからSIDEXIS 4を次にインストールす る場合、インストール中にSICAT SuiteをSIDEXIS 4モジュールで記録するこ とはできません。その場合は、SICAT Suiteを後ほど手動でSIDEXIS 4モジ ュールで記録できます。これに関するその他の情報は*SICAT Suiteを SIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する* [▶ページ 39]を参照し てください。

SICAT Suiteのインストールは、SICAT Suiteのセットアップ中に自動的に開始されます。 図 SICAT Suiteがインストールされていません。

☑ SICAT Suiteのインストーラーは、SICAT Suiteのセットアップによって開始されました。



1. SICAT Suiteのインストーラーで使用する言語は、お好みのものを、**はじめに**ウィンドウの 右上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。



▶ 使用許諾契約書のウィンドウが開きます。

2. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、**使用許諾契約書に同意します。**オプション欄を選択して、**次へ**をクリックします。

		SICATSUITE
・ はじめに 使用許諾契約書	どこにソフトウェアをインストールしますか?	
オプション	C:\Program Files\SICAT	検索
進捗状況		デフォルト設定を復元する
確認	☑ SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい ■ デスクトップにショートカットを作成します	
	中止する < 戻る	<i>インストール</i> >

▶ オプションのウィンドウが開きます。

 SICAT Suiteのインストーラーにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハ ードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、検索するのボタンをクリッ クします。

▶ フォルダを選択するのウィンドウが開きます。

- 4. ご希望のフォルダが見つかったら、**OK**をクリックします。
 - ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteインストーラーが、そのフォルダへのパスをソフト ウェアをどこにインストールしますか?ボックス内に貼り付けます。
- お手元のコンピュータにSIDEXIS 4がインストールしてある場合、SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したいのチェックボックスは、入力が可能です。SICAT Suiteは、インストール 中もしくは後ほどSIDEXIS 4モジュールとして手動で記録できます。
 - ► SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したいのチェックボックスにチェックマークを入れた 場合、デスクトップにショートカットを作成しますのチェックボックスは、グレーアウ ト表示で入力ができません。
- 6. 入力が可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**チェックボックスにチ ェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。
- 7. インストールするのボタンをクリックします。
 - ▶ 進捗状況のウィンドウが開きます。
 - ▶ SICAT Suiteと残りのソフトウェア要件をインストールします。
 - ▶ インストールが完了すると、確認のウィンドウが開きます。

- 8. 終了するのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteインストーラーが閉じます。

11 OSアップデートの確認手順を実行する



お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Functionが正常に動作しているか確認します。適切な点検手順を実行してください。 点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Functionの使用を中止し、 SICATサポートまでお問い合わせください。



準備

- 1. SIDEXIS 4を開いている場合は、プログラムを閉じてください。
- SICAT Suite患者データベースのスタンドアロンバージョンをまだインストールしていない 場合は、インストールしてください。SICAT Suite患者データベースは、SICATSuiteのセッ トアップでサーバーのインストールを選択することで後でインストールできます。インスト ールについては、取扱説明書SICAT Functionバージョン2.0.40 - スタンドアロンのSICAT Suiteセットアップを開始するの章に記載されています。
- スタンドアロンバージョンのSICAT Suiteで患者データベースへの接続をまだ追加して有効 にしていない場合は、まず接続を設定します。患者データバンクへの接続設定については、 取扱説明書SICAT Functionバージョン2.0.40 - スタンドアロンの*患者データバンク*の章に記 載されています。
- 取扱説明書SICAT Functionバージョン2.0.40 スタンドアロンに記載されている点検手順を 実行してください。オペレーティングシステムの更新後のテスト手順の実行の章の説明に従 って進めてください。

12 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアア
 ップデートが失敗する原因になる場合があります。
 ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

SICAT Suiteインストーラーを起動し、**更新する**をクリックすると、SICATSuiteを更新できま す。 更新にあたって、インストーラーは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストー ルします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteをアップデートする前に、次の点にご注意ください。

SIDEXIS 4は、V4.3.1より前のバージョンがインストールされていま す

SICAT Suiteバージョン2.0以降は、V4.3.1より前のSIDEXIS 4バージョンとは互換性がありません。これに関する情報は*システム要件 [>ページ 10]*を参照してください。

- 1. SIDEXIS 4をV4.3.1以降のバージョンにアップデートしてください。
- 2. SICAT Suiteをアップデートしてください。

SICAT Suiteがアップデート前にSIDEXIS 4モジュールで記録された場合、記 録は保持されます。SICAT Suiteがアップグレード前にSIDEXIS 4モジュール で記録されて**いなかった**場合は、SICAT Suiteを手動でSIDEXIS 4モジュール で記録でき、SIDEXIS 4に統合されたSICAT Suiteを使用することができま す。これに関する情報は*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録す る、削除する* [トページ 39]を参照してください。

SIDEXIS XGがインストールされています

SICAT Suiteバージョン2.0はSIDEXIS XGと互換性がありません。これに関する情報はシステム要 件 [> ページ 10]を参照してください。

- 1. SIDEXIS XGをSIDEXIS 4V4.3.1以上にアップデートしてください。
- 2. SICAT Suiteをアップデートしてください。





SICAT SUITEを修理する

SICAT Suiteを修理することができます。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。 図 SICAT Suiteはすでにインストールされています。

☑ SICAT Suiteは起動していません。

- 1. Windowsコントロールパネルでプログラムおよび機能をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
- 2. SICAT Suite項目をクリックします。
- 3. 変更のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteインストーラーが起動します。
 - ▶ オプションのウィンドウが開きます。
- 4. 修理するのボタンをクリックします。
 ▶ 修理が完了すると、確認のウィンドウが開きます。
- 5. **終了する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteインストーラーが閉じます。

13 このバージョンでの特徴

SICAT Functionを単独で使用するか、他のソフトウェアと併用するかに応じて、特定のエリアに 違いがあります。

SIDEXIS4のモジュールとしてマニュアル操作により登録する

SICAT Suiteは、インストール中に自動で登録を行うことができますが、SIDEXIS 4のモジュール としてマニュアル操作により登録や削除を行うことが可能です。これに関する情報は*SICAT Suite をSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する* [>ページ 39]を参照してください。

プログラムの起動

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合、SICAT Suiteの起動は、SIDEXIS 4の内部で**治療計 画立案、治療**の段階で行われます。SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suite を起動する手順は、*SICAT Suite をスタートする [トページ 43]*の節をご覧ください。

患者データ、立体画像のデータ

SIDEXISに結合したバージョンのSICAT Functionでは、SIDEXISの患者データとボリュームデータ を利用します。したがって、データのバックアップは、SIDEXIS向けで設定されている手順に沿 って行われます。



設定

SICAT Suiteの設定内容は、SIDEXIS 4の設定内容の中で、カテゴリとして保存されています。

SIDEXISに結合したバージョンでは、SICAT Suiteで表示されるパラメータが、いくらかの設定内 容のもののみに限定されますが、その理由は、SICAT Suiteで適用されるのがSIDEXISの設定内容 であるためです。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通 のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定 する必要はありません。

SIDEXIS 4からのデータの転送

SICAT FunctionはSIDEXIS 4からボリュームの配置とパノラマ エリアを、最初にボリュームをSICAT Functionで開くときに転送します。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Functionはボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- SICAT Functionがサポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。SIDEXIS 4 の各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Functionがサポートするパノラマ エリアは、幅が10 mm以上のものに限ります。
- SICAT Functionがサポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限ります。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Functionはボリ ュームの配置とパノラマエリア、または、パノラマエリア単独のいずれかについては、転送し ません。

さらに、SICAT Functionで3D X線撮影画像を初めて開くと、SICAT Functionでは、**3D**ビューの 焦点と視線方向として、SIDEXIS 4のものが適用されます。

データエクスポート

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的 で用意されている、SIDEXIS 4の各種機能を利用して行われます。このエクスポートに関する内 容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

SIDEXIS 4の出力ページへスクリーンショットを追加する

画像や作業画面の各スクリーンショットは、SIDEXIS 4の出力ページに追加することができま す。追加したら、2D出力ページに用意されている、SIDEXIS 4の各種機能が利用できるようにな ります。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

カート

カートは、SICAT Suiteで用意されていますが、SIDEXIS 4では出力のフェーズで利用できます。

スタディで、書込権限のあるものとないものを開く

SICAT Functionスタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成 されます。計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画 データで構成されます。



SICAT Functionスタディで変更を行って、変更内容を保存できるようにするためには、以下の条件を満たしておくことが必要です。

■ SICAT Functionのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。

機能	フルバージョンライ センスはアクティベ ーション済み	ビューアライセンス はアクティベーショ ン済み	ライセンスはアクテ ィベーションが未完 了
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
SICAT Function設定	有	有	無
変更を行う	有	無	無
変更内容を保存せ ず、データを確認す る	有、患者記録がロッ クされている場合	有	有
ヘルプ	有	有	有

以下の表には、ライセンスに応じた機能の利用可否を示します。

以下の場合はビューアライセンスがなくてもSICAT Function のスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Functionのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上の データをSIDEXISにインポートします。SICAT Function このコンピューター上にインストー ルされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部に SICAT Functionのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。 他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Functionの 後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によって は、SICAT Functionのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできない ときがあります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

詳細は*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 211]*を参照してください。

14 SICAT FUNCTIONの標準ワークフロー

▲ 注意	 情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。 1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。 2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。 3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。
▲ 注意	ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報 およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがありま す。 ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。
▲ 注意	サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスに つながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関す るリスクの原因になるおそれがあります。 お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかか わるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連 絡ください。
▲ 注意	SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイ ルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがありま す。 ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネッ トワークファイルシステムに保存できるようにしてください。
▲ 注意	SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つ のコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供 用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれ があります。 ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規 則を作成してください。

|i|



SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項を よくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

データセット

SICAT Functionでは、以下に挙げる、3種類の異なるデータセットを結合します。

- 3D X線撮影画像。例として、Dentsply Sirona GALILEOSによるものがあります
- 顎運動データ。例として、SICAT JMT⁺システムによるものがあります
- デジタル光学印象。例として、Dentsply Sirona CERECによるものがあります

インストール

SICAT Suiteをインストールする手順は、*SICAT Suiteのインストール [トページ 25]*をご覧ください。

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suiteを手動で起動する手順は、*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [トページ 39]*の節をご覧ください。

フルバージョンで使用可能にする

 SICAT Functionのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを 行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報は*ライセンス [*> ページ48]を参照してください。



SICAT Functionのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像を ビュアーモードで個別に開いてください。ビュアーモードに関する内容 は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 211]*の節をご覧ください。

設定

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これ に関する情報は*設定 [▶ページ 197]*を参照してください。

データセットを収集する

1. 患者の3D X線撮影画像は、患者がSICAT Fusion Biteを咬合している間に作成します。この手順に関する内容は、SICAT JMT⁺のクイックガイドをご覧ください。
- 2. 患者専用の顎運動データを撮影します。この手順に関する内容は、SICAT JMT⁺の取扱説明書 をご覧ください。
- 3. 上顎骨と下顎骨のデジタル光学印象を作成します。この手順に関する内容は、それぞれの機 器の取扱説明書をご覧ください。

データセットを開く

- 1. タイムラインに沿って並ぶ中から、3D X線撮影画像か、または、SICAT Functionのスタディ を選択します。
- SICAT Functionを起動します。これに関する情報はSICAT Suite をスタートする [▶ページ 43]を参照してください。

SICAT FUNCTIONの処理手順



SICAT FUNCTIONでデータセットを編集する

- 1. 必要に応じて、ボリュームの配置とパノラマエリアを調整します。これに関する情報は*ボリ ュームの配置およびパノラマエリアを調整する* [▶ページ 108]を参照してください。
- 2. SICAT Functionで、顎運動データをインポートして記録します。これに関する情報は*顎運動 データをインポートして記録する* [▶ページ 122]を参照してください。
- 3. 下顎骨、さらに必要に応じて、切歯窩をセグメント化します。これに関する情報は*下顎骨を* セグメントする [▶ページ 128]と*窩をセグメントする* [▶ページ 131]を参照してください。
 - ▶ SICAT Functionでは、インポートした、顎運動データを、**3D**画像としてビジュアル化します。
- 4. 3D X線撮影画像のデータとともに、光学印象をインポートして記録します。これに関する情報は*光学印象* [▶ページ 134]を参照してください。
- 5. TMJワークスペースで、顎運動を評価します。これに関する情報はTMJワークスペースに関する概要 [▶ページ 75]とTMJワークスペースの各種機能 [▶ページ 159]を参照してください。セグメンテーションが行われない場合は特に、解剖学的な運動経路を補助ツールとして使用してください。これに関する情報は3Dビューで運動の軌跡を表示する [▶ページ 156]、検査ウィンドウにより運動の軌跡を調整する [▶ページ 157]、レイヤービューで十字線により運動の軌跡を調整する [▶ページ 158]および顎運動と連携する [▶ページ 153]を参照してください。
- 6. OPTIMOTIONのスプリント用に、治療位置を決定してください。これに関する情報は*治療位置の設定 [*>ページ181]を参照してください。
- 7. OPTIMOTIONのスプリントを注文してください。これに関する情報は*注文プロセス [トページ 180]*を参照してください。
- 8. 例えば、セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。これに関する情報は*データエクスポート [*▶ページ179]を参照してください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

 お手元の作業を終了したり中断したりするときは、SIDEXIS 4からSICAT Suiteを閉じて、 その作業内容を保存します。これに関する情報はSICAT Suiteを閉じる [>ページ 212]を 参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、SICAT Suite ヘルプのウィンドウからご覧ください。これに関する情報は*取扱説* 明書を開く [▶ページ 47]を参照してください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。これに関する情報は*サポート [▶ペ ージ 207]*を参照してください。

15 SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして 登録する、削除する

SIDEXIS 4によるSICAT Suiteの使用に関して、一般的な内容は、*このバージョンでの特徴 [>ページ 32]*の節をご覧ください。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4ヘインストールすると、SICAT Suiteのインストー ルプログラムが、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして、自動で登録 を行います。このインストールに関する内容は、*SICAT Suiteのインストー* ル [▶ページ 25]の節をご覧ください。

「SIDEXIS 4」のウィンドウを開く

- 1. SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動します。これに関する情報は*SICAT Suite をスタート する [*>ページ43]を参照してください。
- 2. **設定**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **設定** のウィンドウが開きます。
- 3. SIDEXIS 4のタブをクリックします。
- ▶ SIDEXIS 4 のウィンドウが開きます。



SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する

- ☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。

- ☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。
- ☑ SIDEXIS 4ウインドウはすでに開いています:
- 1. SICAT SuiteをSIDEXIS 4で登録するのボタンをクリックします。
- 2. SIDEXIS 4を起動します。
- ► SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして登録を完了しておきます。SIDEXIS 4への登録 が支障なく完了したら、治療計画立案、治療のフェーズが見えるようになります。



SIDEXIS 4のモジュールとして登録したSICAT SUITEを削除する

☑ SICAT Suiteが、SIDEXIS 4のモジュールとして、すでに登録されていることが必要です。

- ☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。
- ☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。
- ☑ SIDEXIS 4ウインドウはすでに開いています:
- 1. SICAT SuiteをSIDEXIS 4から削除するのボタンをクリックします。
- 2. SIDEXIS 4を起動します。
- ▶ 以上で、SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして使用することは、できなくなります。

16 SIDEXIS 4のSICAT FUNCTION撮影結果

▲ 注意	DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断およ び治療になるおそれがあります。 利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されている X線撮影装置で撮影したものに限定してください。
▲ 注意	不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につなが るおそれがあります。 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置 で撮影したものに限定してください。
▲ 注意	不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招く ことになりかねません。 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認 してください。
▲ 注意	表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれ があります。 SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認し てください(例えば、SMPTEテストビューで)。
▲ 注意	環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になる おそれがあります。 1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してく ださい。例えば、照明が十分であるか確認してください。 2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。
注記	正確な診断、正確な治療、顎運動データの正確な記録を確実にするため、 SICATは次のパラメーターを含む3D X線データを使用することを推奨しま す。 1. レイヤーの厚さ:0.7mm以下 2. ボクセルサイズ:全3次元で0.7mm以下

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させる場合、患者データの管理は、SIDEXIS 4で 行ってください。 以下の条件が満たされていれば、SIDEXIS 4では、 SICAT Functionのスタディに関するプレビュー画像を表示します。

- SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして使用している。
- 選択した患者について、SICAT Functionのスタディが作成済みである。



プレビュービューでは、以下の情報をお知らせします。

- 顎運動データの有無
- 顎関節のセグメント化データの有無
- 光学印象の可用
- 治療位置の有無
- 治療計画について、未作成、編集中、作成完了の別
- 注文について、未注文、注文する顎関節症治療用スプリントがカート内にある、注文をアッ プロード済みの別

アイコンが明るく表示されていれば、それに該当するアイテムは、スタディの中に含まれていま す。

17 SICAT SUITE をスタートする

<u>♪</u> 注意	患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果とし て、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。 3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICAT のアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名 が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれ もチェックしてください。
▲ 注意	不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につなが るおそれがあります。 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置 で撮影したものに限定してください。
▲ 注意	不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招く ことになりかねません。 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認 してください。

SIDEXIS 4のモジュールとして記録したSICAT Suiteを起動させるときは、以下の手順に沿って、 操作を行ってください。

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール* [▶ページ 25]を参照してください。
- ☑ SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールとして、すでに記録されています。これに関する情報はSICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 39]を参照してください。SIDEXIS 4へSICAT Suiteをインストールすると、記録は自動で行うことが可能です。
- ☑ SIDEXIS 4で3D X線撮影画像またはスタディを既に選択しています。
- ☑ オプションで3D X線撮影画像またはスタディに加えて光学印象も選択しました。



 3D X線撮影画像とオプションの光学印象を選択した場合は、表示アイコンをクリックして、 その後SICAT Suiteアイコンをクリックしてください。



- 2. スタディとオプションの光学印象を選択した場合は、SICAT Suiteアイコンをクリックして ください。
- ▶ SIDEXIS 4は、治療計画立案、治療フェーズに切り替わります。
- ▶ SICAT Suiteは、対応するスタディとともに3D X線撮影画像をSICAT Functionで開きます。
- ▶ 3D X線撮影画像を選択した場合、または光学印象付きのスタディを行った場合は、SICAT Functionはまず光学印象をインポートし記録するのアシスタント機能をインポートするのス テップで開きます。これに関するその他の情報は光学印象 [▶ページ 134]を参照してください。



3D X線撮影画像を開いた後は、SICATの別アプリケーションへ切り替えることができます。これ に関する情報は*SICATのアプリケーションを相互に切り替える [*>*ページ 46]*を参照してくださ い。

アプリケーション固有のスタディで保存済みのものがあるときは、このスタディを**撮影図**のウィンドウから直接選択して、そのスタディが関係する、SICATのアプリケーションで開くことができます。すでにショッピングカートに入れた商品で、この3D治療計画スタディをベースとするものがあるときは、ショッピングカートが開きます。



SIDEXIS 4でも同様に、**最後の撮影図**のコーナーにある、**患者の詳細**のウィンドウで3D治療計画 スタディを表示します。この表示に関する内容は、*SIDEXIS 4のSICAT Function撮影結果* [トペー ジ 41]の節をご覧ください。

18 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。

	\$orden Frances ★ 1968;00(27 64/74/73		其 8.4 🔷 🧐 8.8	_> ■ *#	Plan & Treat 💮 🗄 🗇	💷 🗸 🔅 🖉	
1	201500/16 15.45 副前日年					📰 som un 🐔 🖉 🖉 🖉	2
T							3
							4
							5
							6
1	現時点で開いているスタ	マディ		4	ヘルプ		
2	設定			5	SIDEXIS 40	Dフェーズバー	
3	アプリケーション切替用 カート	目のボタ	ソ、ボタ	ン <mark>6</mark>	アプリケー	ション領域	
_ 1	旧中上で明いていてった		田吐上不同	ヨレフ	いてつカデ		

- 現時点で開いているスタディー現時点で開いているスタディに関する内容とSICAT Suiteを 閉じるボタンを表示します。
- 設定 これに関する情報は*設定 [▶ページ 197]*を参照してください。
- アプリケーション切替用のボタン、カートのボタン これらのボタンに関する内容は、 SICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ページ 46]、 注文プロセス [▶ページ 180] の各節をご覧ください。
- **ヘルプ** これに関する情報は*取扱説明書を開く [>ページ 47]*を参照してください。
- アプリケーション領域は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

19 SICATのアプリケーションを相互に切り替え

る

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。



- SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されているボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

20 取扱説明書を開く

SIDEXIS 4では、**ヘルプ**のメニューから、PDFファイルの形式で、SICATのアプリケーションの取 扱説明書を呼び出すことができます。SICATのアプリケーションの取扱説明書を開くときは、以 下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 1. **ヘルプ**のアイコンをクリックします。
 - ▶ 利用が可能な取扱説明書のリストが開きます。

Sidexis 4ヘルプ
Sidexis 4 - 発見
ヘルプ SICAT Implant
ヘルプ SICAT Function
ヘルプ SICAT Air
ヘルプ SICAT Endo
パ−ジョン情報 Sidexis 4
バージョン情報 SICAT Suite
遠隔メンテナンス

- 2. お好みの使用説明書をクリックします。
- ▶ 選択した使用説明書が開きます。

SICATアプリケーションが開いている場合、対応するヘルプを開くには同様にF1ボタンを押します。

21 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスが有効化済みのSICATアプリケーションのみ表示します。

SICAT SuiteのSIDEXIS 4と接続されたバージョンではSICAT Function治療計画も有効なSICAT Functionライセンスなしで表示することができます。
 ネットワークライセンスを使用するには、まずローカルクリニックネットワークにライセンスサーバーをセットアップし、SICAT Suiteをライセンスサーバーに接続する必要があります。
 練習用ネットワークでのライセンスサーバーの設定方法については、製造元であるWIBU-SYSTEMS AG社のライセンス管理ソフトウェア「CodeMeter」の取扱説明書と、SICAT Suite Version 2.0 ライセンスサー

以下の種類のライセンスがあります。

ビューアライセンスがあればアプリケーションをビューアモードで無期限使用することができます。

バーをインストールするに関するクイックガイドを参照してください。

- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定 でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョン
 に無期限でアクセスすることができます。

これらのライセンスは、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスの両方として 取得できます。

- ワークステーションライセンスを使うと、定義済みのコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。
- ネットワークライセンスを使えば、ローカルクリニックネットワーク内の複数のコンピュー タでSICATアプリケーションを使用できます。

ライセンスを取得する

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となりま す。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページ からアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

i

お住まいの国でSuite製品のサブスクリプションが利用できる場合は、その 設定方法や利用方法に関する個別の情報を入手できます。

ライセンスの有効化と無効化

以下は、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスに適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されている ものだけです。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのア プリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。

以下はワークステーションライセンスにのみ適用されます。

- ワークステーションライセンスのアクティベーションキーを1台のコンピュータで有効にする と、含まれているライセンスはそのコンピュータに割り当てられ、別のコンピュータでのア クティベーションには使用できなくなります。アクティベーションキーには、SICATのアプ リケーションまたは機能に対する複数のライセンスが含まれる場合があります。
- ワークステーションライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能ごとに無効化することができます。ワークステーショライセンスを返却すると、そのライセンスは同一または別のコンピューターで再度アクティベーションすることができます。

以下はネットワークライセンスにのみ適用されます。

- ネットワークライセンスを使用すると、SICAT Suiteを使用している間、付属のSICATアプリ ケーションまたは付属の機能の各ネットワークライセンスをコンピュータ上のユーザーが利 用できます。ネットワークライセンスは現在他のユーザーによる使用のためにロックされて います。
- ネットワークライセンスを使用している場合、SICAT Suiteを終了すると、ネットワークライ センスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- ネットワークライセンスからワークステーションライセンスに切り替えると、ネットワーク ライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- SICAT Suiteを正しく終了せずにクリニックネットワーク内のライセンスサーバーへの接続が 失われた場合、ネットワークライセンスは一定期間後に他のユーザーが使用するために自動 的に解放されます。
- SIDEXIS 4でSICAT Suiteをネットワークライセンスで使用する場合は、SICAT Suiteの設定 で、クリニックネットワークでライセンスサーバーへの接続を確立するための時間制限を設 けるかどうかを指定できます。

次に続くアクション

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセン** スのウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示し ます。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [トページ 51]*を参照してくださ い。

ワークステーションライセンスは次の2通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報はインターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [>ページ 52]を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報はワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [>ページ 54]を参照してください。

各アプリケーションまたは機能のワークステーションライセンスを個別に無効にすることができ ます。ワークステーションライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキ ーを入力することができます。返却されたワークステーションライセンスは、同一または別のコ ンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報はワークス テーションライセンスをライセンスプールへ返却する [>ページ 56]を参照してください。

ネットワークライセンスを有効にする方法は、*ネットワークライセンスを有効にする* [▶ページ *58]*をご覧ください。

21.1 「ライセンス」のウィンドウを開く

- SIDEXIS 4のタイトルバーで、設定のアイコンをクリックします。
 ▶ 設定のウィンドウが開きます。
- 2. SICAT Suiteのグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteのグループが開きます。
- 3. **ライセンス**のボタンをクリックします。
 - ▶ ライセンスのウィンドウが開きます。

Sidexis 4		– a ×
		🛛 🗣 🛠 🧕
一般的な設定 ▼ 患者設定 ▼	SICAT Suite - ライセンス	<u>م</u>
撮影		7-937-937
出力 マ Connectivity マ	ワークステーションライセンス ネットワークライセンスへの切り増え	
SICAT Suite	📫 SiCAT Implant 有効なライセンスがありません	
	ーー ダ SICAT Function 有効なライセンスがありません	
ブラクティス ライセンス・	● ¹⁴ SICAT Air 有効なライセンスがありません	
ハナ	wine and a a a a a a a a a a a a a a a a a a	
미랜산	▼ フイセンス アクティペーション	
		✓ 閉じる
		ann a chuir a

- **1** ライセンスのタブ
- 2 ライセンスのウィンドウ

以下の操作を続行します:

- インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [>ページ 52]
- ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [>ページ 54]
- ネットワークライセンスを有効にする [>ページ 58]
- ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [>ページ 56]

21.2 インターネット接続を使用してワークステーションラ イセンスを有効にする



アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ✓ ライセンスのウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 51]を参照してください。
- ライセンスのウィンドウで、ライセンスアクティベーションのボタンをクリックします。
 ▶ ライセンスアクティベーションエリアが開きます。

	■ AL (* AL = 0) (* AL = 0)
SICAT Suite - ライセンス O-ウステーションライセンス Athの一クライセンス SICAT Suite - ライセンス Athの一クライセンスへの初り超え SICAT Function 名効なライセンス作参以ません SICAT Function 名効なライセンス作参以ません with SICAT Function 名効なライセンス作参りません with SICAT Function 名効なライセンス作参しません with SICAT Function 名効なライセンス作参しません	יבע-בגת-גע ני-גע-גע
	5-52-52 ERI-12
SCAT Function 和助ロナイセンスが参加ません SCAT Air 有助ロライセンスが参加ません w ^{**} SICAT Endo 和助ロライセンスが参加ません A ライセンスプジアイペーション	
 SCA Ar 新設づイセンスがあません ■** SCA Trado 新設はフイセンスがあません ▲ ライセンスプラブィペーション 	
▲ <u>ライセンスアクライベーション</u>	
▲ ライセンスアクティベーション	
1. アクティベーションキーを入力してください。	
	ま 寄りの代理店にお問い合わせください。
	*=**
オンフインアクティベージョン(推奨) ライヤリフ アクティバーション(性愛)	手動で有効化 ぶかえま オンライノアクティズーションができたい撮合け みまたファイルを手動でに決まるために ?のまプションが要知してください
ナリウイン アンフィーマン フレン しんしょく (リング・マント はんのかんのう)の	
17717777777777777777777777777777777777	

1 ライセンス アクティベーションのボタン

2 エリア

3 オンライン アクティベーションを開始するのボタン

- 2. 欄にアクティベーションキーを入力します。
- 3. オンライン アクティベーションを開始するのボタンをクリックします。

- 4. Windows ファイヤーウォールのウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。
- ▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。ライセンスは正常に有効化されました。。

注記	再起動が必要 ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバー ジョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィン ドウを表示します。
l	SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行 うときは、エリアにあるボタン 顧客のアクティベーションキーを使用する をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになりま す。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするとき は、ボタン 空にする をクリックしてください。

21.3 ワークステーションライセンスを手動またはインター ネットに接続せずに有効にする



ライセンスを手動、またはアクションなインターネット接続なしで有効にするには、以下の手順 に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。
- ☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「*ライセンス」のウィ* ンドウを開く [▶ページ 51]を参照してください。
- ライセンスウィンドウのライセンス アクティベーションをクリックします。
 ライセンス アクティベーションエリアが開きます。
- 2. 手動アクティブ化エリアの表示するをクリックします。

▶ **手動アクティブ化**エリアが開きます。

		📃) 🧀 Penansa) 🀑 (197) 👘 🦉	1
一般的な設定 ▼ 患者設定 ▼ 撮影 ▼ 出力 ▼ Connectivity ▼	SICAT Suite - ライセンス ワークステーションライセンス ネットワークスイセンスへの切り開え ** SICAT Inplant 市地なライセンスがありません #* SICAT Function 相地なライセンスがありません	9-9	χ
SICAT Suite 校 ブラウティス ライセンス * ハブ 可祝化	 		1
SICAT Implant SICAT Function SICAT Air	10000-00000-00000-00000 1000-0000-0	豊臣にお問い合わせください。	2
	 オンラインアクティベーション(推奨) ライセンスアクティベーション(推奨) 	手動で有効化 だかう オンライフ アウティベーションができない場合は、必要なファイルを手動で転送するために、このオブションを選択してくださ	3
	オソライン アウティベーションを開始する	い。 Lアクティベーションキーに該当 <u>まままでからいであります。たまりましていたい。</u> インターネット接触環境のコン「ユーターにファイルをJICーし、www.sicat.com/registerに接続してください。 ウェブサイトの指示に従ってくい さい。	4
		そそれをジス. アモンイセンス ル、デニコアル操作をライセンスのアウティベーションを行って完了させるには、「読み込んでアウティベーションを行う」のボタン を押して、入手済みのシイセンス思証用ファイルを読み込んでください。	5
		上部に表示されているアウティベーションキーが正したことを確認してなさい。	6
/ 🐚 Dentsaty			
1 1 71	2ンス アクティベーション <mark>4</mark> デモ	ライセンス のボタン	
<mark>2</mark> エリフ	ァ <mark>5</mark> フル	バージョンまたはビューアライセン	ス のボタ

3 表示する 6 読み込んで有効化していますのボタン

 フルバージョンライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、フルバージョンまたは ビューアライセンスのボタンをクリックします。

- o × 1

ライセンス

デモライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、デモライセンスのボタンをクリックします。

▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

- 5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。
 - ▶ ファイル拡張子をWibuCmRaCとして、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。
- 6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピュータ ーにライセンス要求ファイルをコピーします。
- 7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットペ ージhttp://www.sicat.com/registerを開きます。
- 8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。
 - ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、 お持ちのライセンスプールからピックアップされます。
 - ► SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子をWibuCmRaUとして、ライセンスのア クティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピュータ ヘダウンロードしてください。
- 9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコ ンピューターにコピーします。
- 10. アクティベーションキーが正確に欄に入力されていることをチェックします。
- 11. ライセンスのウィンドウで、読み込んで有効化していますのボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
- 12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイラ イト表示にして、**OK**をクリックします。
- ▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピュー ターにインストールされます。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。ライセンスは正常に有効化されました。。

再起動が必要

注記 ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバー ジョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィン ドウを表示します。

21.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ 返却する



フルバージョンライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプー ルに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスはすでに有効になっています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ ライセンスのウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 51]を参照してください。

as 4				- a ×	
般的な設定	ŠICAT Suite - 🗄	ライセンス			
者設定	-			ワークステーション	
\$ ·	-				
力 onnectivity 、	▼ ▼ ワークステーションライセンス	*9	トワークライセンスへの切り替え		
AT Suite	SICAT Implant	ライセンン <mark>は有効です</mark>			
校	SICAT Function	ライセンスは有効です			
ラクティス イャンフート	JICAT Air	ライセンスは有効です			
t de la companya de la compa	SICAT Endo	ライセンスは有効です	ライセンスの無効化とリリース		
視化	SICAT Suite STL Impo	tt ライセンスは有効です	ライセンスの無効化とリリース		Γ.
CAT Implant	SICAT JMT*	ライセンスは有効です			
CAT Function					
	👻 ライセンス アクティペーション				
				✓ 1013	

1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

- **2** ライセンスの無効化とリリースのボタン
- ライセンスのウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にあるライセンスの無効化とリリースのボタンをクリックします。
- ▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用 できる状態になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。ライセンスは正常にライセンスプ ールに返却されました。。
- ▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全ての SICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完 全にビューアモードになります。



21.5 ネットワークライセンスを有効にする

患者ファイルが閉じている必要があります

注記 ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じ てください。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも1つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なネットワークライセンス が欠けています。
- ☑ ライセンスサーバーを設定しました。

3 IPアドレスエリア

- ☑ SICAT Suiteを実行しているコンピューターは、ライセンスサーバーが存在するネットワーク へのアクティブなネットワーク接続を行っています。
- ☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は「*ライセンス」のウィ* ンドウを開く [▶ページ 51]を参照してください。
- 1. **ライセンス**のウィンドウで、**ネットワークライセンスへの切り替え**のボタンをクリックしま す。
 - ► SICAT Function はネットワークライセンスに関する情報を表示し、ライセンスサーバー エリアが開きます。

Gidexis 4		– ø ×
	👔 🛤 🔰 🕺 🖉 🖬 👘 🖉 🖬 👘 🖉 👘 👘 👘 👘	🌣 君 🛞
一般的な設定 患者設定	SICAT Suite - ライセンス	1
撮影 出力		9-927-939
Connectivity	★ ネットワークライセンス ワークステーションライセンスへの初期常え	2
SICAT Suite	SICAT Implant 3/12/2//##REATCULE#6.	
プラクティス ライセンス *	a ^w SICAT Air ライセンスが使用されていません	
ハブ	w ^w SIGAT Endo ライセンスが使用されていません	
SICAT Implant	▲ <mark>●</mark> 342727-K-	3
SICAT Function SICAT Air	1975 <mark>1 R 利用可能応5/102/20更求</mark>	
		- I -
		5
		AP BILL
Rentiefy		Sidexis 4
1 = 2		の - ギ ケ 、
	センスのワイントワ 4 利用可能なフィセンスの要求	の示ダン



 IPアドレスエリアに、クリニックネットワーク内のライセンスサーバーのIPアドレスを入力 します。

- 3. 利用可能なライセンスの要求のボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteはライセンスサーバーに接続します。
- ▶ アプリケーション用または個々の機能用に取得されたライセンスは、ライセンスプールから 取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで使用されます。
- ▶ ステータス表示が赤から緑に変わります。

▶ ライセンスサーバーエリアが閉じます。

ネットワークライセンスが期限なしで確実にライセンスサーバーから取得 できるようにするために、**安全なライセンス要求を有効にする**のチェック ボックスがデフォルトで有効になっています。

再起動が必要

注記 ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバー ジョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィン ドウを表示します。

22 SICAT FUNCTIONのユーザーインターフェー ス

SICAT Functionのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



4 開いている3D X線撮影画像に関する情報

- 有効な患者ファイルのタブには、開いている患者ファイルの属性を表示します。
- ワークフローのツールバーは、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。これに関する情報はワークフローのツールバー [>ページ 62]を参照してください。
- ワークスペースエリアは、ワークフローのツールバーの下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Functionで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は ワークスペース [トページ 72]を参照してください。
- 有効なビューにのみ画像のツールバーが表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。これに関する情報はビューの調整 [▶ページ 82] と 3Dビューの調整 [▶ページ 96]を参照してください。
- オブジェクトバーには、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの(オブジェクト)を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報はオブジェクトバー (>ページ 64)を参照してください。

 ワークスペースのツールバーには、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、 ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワ ークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は*十字線およびフ レームの移動、非表示、表示 [*>ページ90]、ビューをリセットする [>ページ94]、アクテ ィブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [>ページ79]とワークスペース のスクリーンショットを作成する [>ページ80]を参照してください。

22.1 ワークフローのツールバー

SICAT Functionでは、**ワークフローのツールバー**は3つのワークフローステップで構成されています:

- 1. 準備する
- 2. 診断する
- 3. 注文する

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりする ことができます。

1. ワークフロー・ステップ「準備する」



ワークフロー・ステップ「**準備する**」では、以下のツールが使用できます。



- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整します これに関する情報はボリュームの配置を調整する [▶ページ111]とパノラマエリアを調整する [▶ページ116]を参照してください。
- 2. ワークフロー・ステップ「診断する」



ワークフロー・ステップ「診断する」では、以下のツールが使用できます。





 下顎と顆状突起をセグメントする - これに関する情報はセグメンテーション [>ページ 127]を 参照してください。



■ 光学印象をインポートし記録する - これに関する情報は光学印象 [▶ページ 134]を参照してください。



■ 距離測定を追加する(D) - これに関する情報は*距離測定を追加する [▶ページ174]*を参照して ください。



- **角度測定を追加する(A)** これに関する情報は*角度測定を追加する* [▶*ページ175*]を参照して ください。
- 3. ワークフロー・ステップ「注文する」



ワークフロー・ステップ「**注文する**」では、以下のツールが使用できます。



スプリントを注文します - これに関する情報はスプリントをショッピングカートに入れる (トページ 183)を参照してください。

22.2 オブジェクトバー



- 1 オブジェクトブラウザ
- 2 オブジェクトバーを非表示にするのボタンまたはオブジェクトバーを表示するのボタン
- **3** オブジェクトツールバー
- **4** プロパティエリア

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- オブジェクトブラウザには、診断や治療計画の対象(オブジェクト)として、現時点のスタディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。オブジェクトブラウザは、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、測定のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理[>ページ 66]の節をご覧ください。
- オブジェクトツールバーには、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトへの合焦、オブジェクトやオブジェクトグループの削除、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作の取り消し、再度実行などができます。これに関する情報はオブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [>ページ 68]を参照してください。
- プロパティエリアには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

オブジェクトバーの視点をオブジェクトバーの右側の2つのボタンで変更することができます。 オブジェクトバーを非表示にするおよびオブジェクトバーを表示する

SICAT Function で作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Functionオブジェクト* [> ページ 70]の節をご覧ください。

22.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行って ください。

⊽ 🍅	光学印象	
۲	上顎骨	
۲	下顎骨	

☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。

1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを閉じる**のアイコンをクリックしま す。

▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。

2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを開く**のアイコンをクリックしま す。

▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外で は、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。 図 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。
- ► SICAT Function は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを 無効にします。
- ▶ SICAT Function は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。
- ► SICAT Function は、オブジェクトブラウザと画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。

オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェク トも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を 行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。



1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**表示**のアイコンか、または**一 部表示**のアイコンをクリックします。



- ▶ SICAT Functionはオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。
- ▶ SICAT Functionでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**非表示**アイコン が表示されます。



- お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある非表示アイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Functionはオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。
- ▶ SICAT Functionでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**表示**アイコンが表示 されます。

22.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管 理

● **ユ**この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 66]の節をご覧ください。
- ☑ オブジェクトに焦点を合わせることができます。



- アクティブオブジェクトを合わせる(F)のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Functionは、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。

▶ SICAT Functionには、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。

オブジェクトへの合焦は、オブジェクトブラウザからか、または、ビュー
 で、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、3D画
 像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ペ ージ 66]の節をご覧ください。
 - アクティブオブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Functionはオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. 前回のオブジェクト アクションを元に戻す(Ctrl+Z)のアイコンをクリックします。

► SICAT Functionは、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。



2. オブジェクト/グループアクションを再実行する(Ctrl+Y)のアイコンをクリックします。

► SICAT Functionは、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一 度実行します。

ĺ

SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一 度実行することができます。

22.5 SICAT FUNCTIONオブジェクト

SICAT Functionでは、**オブジェクトブラウザ**で、アプリケーション固有のオブジェクトが以下の グループに分類されます。

- 顎運動データ
- ボリューム-部位
 - 下顎骨
- 光学印象

顎運動データ-オブジェクト

🍈 顎運動データ

顎運動データのインポートを完了すると、SICAT Functionでは、**オブジェクトブラウザ**に、**顎運 動データ**オブジェクトを表示します。

ボリューム-部位-オブジェクトおよび下顎骨-オブジェクト



下顎骨をセグメントした後、SICAT Functionがオブジェクト**ボリューム-部位**をオ**ブジェクトブ** ラウザに表示します。ボリューム-部位オブジェクトは下顎骨オブジェクトを含んでいます。下顎 骨のオブジェクトは、以下の下位オブジェクトから構成されます。

- 下顎の左側
- 下顎の右側
- 下顎の正面

下位オブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Functionでは、いずれの2Dビ ューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

光学印象オブジェクト



光学印象のインポートと登録が完了すると、SICAT Functionが**光学印象**オブジェクトをオブジェクトブラウザに表示します。光学印象のオブジェクトは、以下の下位オブジェクトから構成されます。

■ 上顎骨

■ 下顎骨

下位オブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Functionでは、いずれの2Dビ ューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

上顎骨のオブジェクトや**下顎骨**のオブジェクトを削除すると、SICAT Functionでは、既存の光学 印象がもれなくスタディから削除されます。

23 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をま とめて配置します。

SICAT Functionでは、異なる3種類のワークスペースが用意されています。

- パノラマ-ワークステーション-これに関する情報はパノラマワークスペースの概要 (トページ 73)を参照してください。
- TMJ-ワークステーション-これに関する情報は*TMJワークスペースに関する概要 [▶ページ 75]*を参照してください。
- MPR/放射性-ワークステーション-これに関する情報はMPR/放射性ワークスペースの概要 [> ページ 77]を参照してください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- ワークスペースを切り替える [>ページ 78]。
- アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット トページ 79]。
- ビューの調整 [>ページ 82]。
- **3D**ビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 96]を*参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。これに関する情報は ワークスペースのスクリーンショットを作成する [>ページ 80]を参照してください。

MPR/放射性 TMJ

いうマ
23.1 パノラマワークスペースの概要



パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフ(OPG)に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、パノ*ラマエリアを調整する* [▶ページ116]の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、パノラマビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、パノラマビューに、3次元の画像が追加されることになります。**検査ウィンドウ**を移動、非表示、表示および最大化できます。これに関する情報は*検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化* [>ページ91]を参照してください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線 方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更* [> ページ 204]の節をご覧 ください。

ビューの機能に関しては、*ビューの調整 [▶ページ 82]*および*3Dビューの調整 [▶ページ 96]を* ご参照ください。



23.2 TMJワークスペースに関する概要

患者個別の解剖学的な咬合は、**アクティブな顎間関係**で選択して、ビューを検討することが可能 です。JMTエリアに関する情報は、*顎運動と連携する* [▶ページ 153]をご覧ください。

TMJワークスペースには、下顎頭を左側と右側とで同時に表示します。使用されるDVT装置に応じて、両方の顎関節の直接比較が可能になります。また、顎関節の運動や形態の上で非対称性があれば、この比較を利用して特定できます。



SICAT Functionでは、下顎頭が移動しても、その位置の違いを識別表示します。

- SICAT Functionでは、下顎頭が移動すると、それをレイヤービューで青色の輪郭により、表示します。
- SICAT Functionでは、セグメント化した境界線を、レイヤービューで黄色の輪郭により、表示します。
- SICAT Functionでは、下顎頭が移動すると、それを3Dビューで青色の3Dオブジェクトとして 表示します。

頭部を正中矢状面(鏡像対称面)で分割した方向に、各画像を揃えると、左側の顎関節と右側の 顎関節とが互いに比較しやすくなります。3D X線撮影画像の撮影中に位置決めを誤り、それを調 整するときは、**ボリュームの配置を調整する**の機能を利用してください。これに関する情報は*ボ リュームの配置を調整する* [▶ページ 111]を参照してください。ボリュームの配置を調整するに は、顎関節が正中矢状面に対して、可能な限り対称な位置で表示されるようにしてください。

TMJワークスペースでは、顎運動データとボリューム-部位の分析用に追加のオプションが用意されています。これに関する情報は*TMJワークスペースの各種機能 [▶ページ 159]、Bonwillの三角 を利用する [▶ページ 162]、セグメンテーション限度の表示 [▶ページ 163]および下顎頭方向の運動を表示する [▶ページ 164]を参照してください。*

23.3 MPR/放射性ワークスペースの概要



軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線 方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [〜ページ 204]*の節をご覧 ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

冠状ビュー

冠状ビューには、前方から見たレイヤーを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの**矢状方向**ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。**矢状方向**ビューでは、 視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更* [> ページ 204]の節を ご覧ください。

ビューの機能については以下をご覧ください。 ビューの調整 [▶ページ 82] および 3Dビューの 調整 [▶ページ 96]。

23.4 ワークスペースを切り替える

ワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。
- ▶ 選択したワークスペースが開きます。

23.5 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およ びリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿っ て、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。

▶ マウスポインターの形状が切り替わります。





- 2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ 境界線の位置が変わります。
 - ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
- ► SICAT Function では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、アクティブなワークスペースのレイアウトをリセット
 するのアイコンをクリックします。
- ► SICAT Function は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

23.6 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成 する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追 加する

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加するときは、以下の手順 に沿って、操作を行ってください。

☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報はワークスペースを切り替える [▶ページ 78]を参照してください。



- ワークスペースのツールバーから、アクティブなワークスペースのスクリーンショット をSIDEXIS 4出力に追加するのアイコンをクリックします。
- ► SICAT Function では、ワークスペースのスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボード にコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報はワークスペースを切り替える [▶ページ 78]を参照してください。



- ワークスペースのツールバーから、アクティブなワークスペースのスクリーンショット
 をクリップボードにコピーするのアイコンをクリックします。
- ► SICAT Function では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードに コピーされます。

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

24 ビュー

ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その 詳細は以下の節をご覧ください。 *ワークスペース [*> ページ 72].

ビューを調整することができます。これに関する情報は*ビューの調整 [>ページ 82]*と *3Dビ ューの調整 [>ページ 96]*を参照してください。

24.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、い くらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、*アクティブなビューの切り替え* [> ページ 84]の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素:



2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。 SICAT Functionは全てのレイヤービューを互いに同期させます。これは、全ての十字線が3D X線 データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り 当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます:

- アクティブなビューの切り替え [>ページ84]
- ビューの最大化および復元 [トページ 85]
- 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [>ページ 86]
- ビューのズームおよび切り抜きの移動 [>ページ88]
- レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [>ページ 89]
- 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [トページ 90]
- 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [>ページ 91]
- ビューの傾斜 [トページ 93]
- ビューをリセットする [>ページ94]

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 96]*を参照 してください。

アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は*画像のスクリーンショットを作成する [*トページ 95]を参照してください。

24.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。 ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。



- 2. 希望のビューをクリックします。
- ▶ SICAT Functionがビューを有効にします。



アクティブなビューは、タイトルバーがオレンジ色になりますので、それとわかります。

24.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。 図 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してくだ

- さい アクティブなビューの切り替え [>ページ 84]。
- ☑ 希望のビューは最大化していません。



希望のビューのタイトルバーにある最大化するのアイコンをクリックします。
 ▶ SICAT Function がビューを最大化します。



2. 最大化したビューのタイトルバーにある、戻すのアイコンをクリックします。
 ▶ SICAT Function では、ビューが元のサイズに戻ります。

ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用 できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトル バーをダブルクリックすることができます。

24.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリ セット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってくだ さい。

☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビ ューの切り替え [▶ページ 84]を参照してください。

- -Ò-
- 2Dビューの**画像のツールバー**に輝度およびコントラストの調整のアイコンがありますので、 それにマウスポインタを重ねます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。





- 2. マウスポインタを輝度のスライダーに重ねます。
- 3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動さ せます。
 - ▶ SICAT Function では、2Dビューを輝度のスライダー位置に応じた明るさに調整します。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Function は2Dビューの現在の輝度を保持します。



- 5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
- 6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを 上下方向に移動させます。
 - ▶ SICAT Function では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラスト に調整します。
- 7. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Function は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

- 8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで 移動させます。
- ▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが閉じます。



2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセ ットする**のアイコンをクリックしてください。

全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

24.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。 ビューをズーミングするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。 1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。 2. マウスホイールを前に回します。 ▶ ビューがズームインします。

- 3. マウスホイールを後ろに回します。
- ▶ ビューがズームアウトします。

上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向 に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
- 2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
- 4. マウスの右ボタンを放します。
- ▶ SICAT Function では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

24.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってく ださい。

- 1. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
- 3. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ 横断のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
 - ▶ 横断のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
 - ▶ SICAT Function は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Function では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Function では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

24.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

- 1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
 - ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
 - ► SICAT Function は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ► SICAT Function では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Function では、十字線が移動後の位置を維持します。

十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。



- 1. **ワークスペースのツールバー** で、**十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリック します。
 - ▶ SICAT Function では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
 - ▶ SICAT Function では、**3D**ビューででフレームが隠れます。



- 2. 十字線とフレームを表示するのアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Function では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
 - ▶ SICAT Function では、3Dビューでフレームが表示されます。

24.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ パノラマワークスペースはすでに開いています。この切替に関する内容は、アクティブなワ
 ークスペースの切り替え [▶ページ 78]の節をご覧ください。

☑ 検査ウィンドウは、隠さずに表示しておきます。



- パノラマビューで、検査ウィンドウのタイトルバーにマウスポインタを重ねます。
 ▶ マウスポインタは手のマークになります。
- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ 検査ウィンドウは、マウスポインタの動きに追随します。
 - ► SICAT Functionは別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ► SICAT Functionでは、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Functionでは、検査ウィンドウが移動後の位置を維持します。

検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する

シンボル**検査ウィンドウを設定する**は、同時にステータス表示とスイッチ 、 です。

検査ウィンドウを非表示、表示、最大化するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ パノラマワークスペースはすでに開いています。これに関する情報はワークスペースを切り 替える [▶ページ 78]を参照してください。
- ☑ 検査ウィンドウは、隠さず表示しておきます。

- 1. **画像のツールバー**の**パノラマ**ビューで**検査ウィンドウを設定する**のアイコンにマウスポイン タを重ねます。
 - ▶ SICAT Functionは検査ウィンドウを設定するためのアイコンを表示します。



\sim	
<u> \</u>	٤

- 2. 検査ウィンドウを非表示にするのアイコンをクリックします。
 ▶ SICAT Functionでは、検査ウィンドウが非表示になります。
- 3. 検査ウィンドウを標準サイズで表示のアイコンをクリックします。
 ▶ SICAT Functionでは、検査ウィンドウが表示されます。
- 4. 検査ウィンドウの最大化のアイコンをクリックします。
 ▶ SICAT Functionは、検査ウィンドウを最大化します。

24.9 ビューの傾斜

パノラマワークスペースで**縦**ビュー、および**横断**を傾けることができます。これにより、特定の 解剖学的構造 (歯など) または計画オブジェクトを表示するために、両方のビューで配置を最適化 することができます。



1 現在設定されている傾斜

3 傾斜をリセットするのボタン

- 2 傾きを調整するためのスライダー
- ☑ パノラマワークスペースはすでに開いています。これに関する情報はワークスペースを切り

 替える [▶ページ 78]を参照してください。
- ☑ 縦ビュー、もしくは横断ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はア クティブなビューの切り替え [▶ページ 84]を参照してください。
 - 傾斜を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する傾斜まで上下に 動かします。スライダーをクリックして矢印キーをアップとダウンすることにより、傾 斜を変更することもできます。
- ► SICAT Functionアクティブビューを傾斜させ、現在設定されている傾斜をアクティブビューのタイトルバーに表示します。
- ▶ SICAT Functionは縦もしくは横断ビュー内の十字線を更新します。
- ▶ SICAT Functionは3Dビュー内の対応するフレームを傾けます。

傾斜をリセットするのボタンをクリックすることにより、傾斜を0°に戻す ことができます。

24.10 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、ビューをリセットするのアイコンをクリックします。
- ► SICAT Functionでは、すべてのビューで、ズーミング、トリミング部分の移動、スクロール、十字線の移動、検査ウィンドウの移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Functionでは、3Dビューで視線方向がデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Functionはビューの傾きを0°にリセットします。

24.11 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用する ことができます。

- SIDEXIS 4の出力ページに追加する
- Windowsのクリップボードにコピーする

ビューのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加します

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ページ 84]を参照してください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加するの アイコンをクリックします。
- ► SICAT Functionでは、ビューのスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーす る

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿っ て、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ページ 84]を参照してください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをクリップボードにコピーする(Ctrl+ C)のアイコンをクリックします。
- ► SICAT Function では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

1

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリ ケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あり ます。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl +V」を使用します。

25 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、 *3Dビューで視線方向を変更する* [▶*ページ 97]*の節をご覧ください。

3Dビューの構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- 3Dビューの表示タイプを切り替える [>ページ102]
- 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する [>ページ103]
- 切り抜きを移動する [▶ページ 105]
- 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [>ページ 107]

25.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向を変更するには2つの方法があります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向をインタラクティブ方式により変更するときは、以下の手順に沿って、操作 を行ってください。

- 1. マウスポインタを**3D**ビューに重ねます。
- マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 ▼ウスポインタは手のマークになります。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Functionでは、3Dビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってくだ さい。

- 1. **3D**ビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねま す。
 - ▶ **目線**の透明なウィンドウが開きます。



- ▶ 目線の透明なウィンドウ中央部でオリエンテーションヘッドのハイライト表示されてい るものがありますが、それが現時点の視線方向です。
- オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

▶ 3Dビューの視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。

3. マウスポインタを、目線の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ 目線の透明なウィンドウが閉じます。

25.2 3Dビューの表示タイプ

3Dビューに関する一般的な情報は*3Dビューの調整* [▶ページ 96]に記載されています。

SICAT Function では、**3D**画像の表示タイプとして、異なる2種類が用意されています。



■ 概要の表示タイプでは、3D X線撮影画像全体の概要を表示します。





■ **セグメント**の表示タイプでは、3D X線撮影画像のトリミング部分に限りますが、移動自在です。



3D画像の表示タイプを選択する手順は、*3Dビューの表示タイプを切り替える* [▶ページ 102]の節 をご覧ください。

有効な表示タイプを調整する手順は、*3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する* [▶ページ 103]の節をご覧ください。

25.3 3Dビューの表示タイプを切り替える



3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください ア クティブなビューの切り替え [▶ページ84]。
- 1. **3D**ビューの**画像のツールバー**で、**表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを 重ねます。
 - ▶ 表示モードを切り替えるの透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Function は希望の表示タイプをアクティブにします。

- 3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動さ せます。
- ▶ 表示モードを切り替えるの透明なウィンドウが閉じます。

25.4 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する



3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操 作を行ってください。

- ☑ 3Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ページ 84]を参照してください。
- ☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は3Dビューの表示 タイプを切り替える [▶ページ 102]を参照してください。
- ☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。



- 1. 3Dビューの**画像のツールバー**の**アクティブな表示モードを設定する**アイコンにマウスポイン タを重ねます。
 - ▶ **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが開きます。

骨のしきい値
□ 骨の透明性
U
△ 詳細設定
□ 背景領域を非表示にする
表示读度
速度 品質
ə

- 2. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Functionでは、3Dビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。
- 3. 表示があれば、**詳細設定**の横にある矢印アイコンをクリックします。

▶ **詳細設定**エリアが開きます。

- 4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。
 - ► SICAT Functionでは、3Dビューに対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。

- 5. 希望のスライダーを動かします。
 - ► SICAT Functionでは、3Dビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。
- マウスポインタを、アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウから外れた位置 まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが閉じます。

現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリッ クすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリッ クすると、プリセットの設定内容として保存できます。



利用できる場合、処理速度が低速のコンピュータでは、**表示速度**のスライ ダーの位置を左の方向へスライドさせてください。

25.5 切り抜きを移動する

3Dビューに関する一般的な情報は以下に記載されています。 3Dビューの調整 [>ページ 96].

セグメントの表示タイプを利用すると、**3D**ビューで、立体画像の一部を隠すことができます。そ の後、SICAT Functionはボリュームの切り抜きデスクのみ表示し、その位置でSICAT Functionが 十字線と同期します。切り抜きデスクを移動するには、次のように行います:

☑ セグメントの表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください 3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 102]。



- 軸方向画像、冠状画像、矢状方向画像のいずれかで、お好みのレイヤーへスクロールします。これに関する情報はレイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [>ページ 89] を参照してください。
- ▶ SICAT Functionは選択したレイヤーに応じて切り抜きデスクを移動します:



25.6 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする

光学印象は、カラーの光学印象を以前にインポートしており、カラー表示が有効になっている場合は、**3D**ビューで自動的にカラーで表示されます。

形状とジオメトリの正確な認識だけが重要な場合は、光学印象のカラー表示をモノクロ表示に切り替えることができます。

☑ 3Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ページ84]を参照してください。



- **画像のツールバー**で、光学印象のカラー表示をオフにするのアイコンをクリックします。

 SICAT Functionはカラー表示をモノクロ表示に切り替えます。
- ×
- 2. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオンにする**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Functionはモノクロ表示をカラー表示に切り替えます。

26 ボリュームの配置およびパノラマエリアを調

整する

ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれ
 を実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断また
 は計画の一部を場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、 次のような場合に必要になることがあります。

- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- パノラマビューの最適化

音量調整をSICAT Functionに合わせると、SICAT Functionは現在開いている計画の設定を引き継ぎます。

ボリュームの配置を調整する手順は、*ボリュームの配置を調整する [>ページ 111]*の節をご覧く ださい。
パノラマ エリア

SICAT Functionでは、ボリュームとパノラマ エリアをベースとして計算を行い、パノラマビューを出力します。パノラマビューを最適化するには、パノラマ エリアが患者の両顎と合致するよう に調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要と なります。



1 パノラマ曲線

2厚さ

3 パノラマエリア

パノラマエリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマエリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマ エリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておい てください。

- パノラマエリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマエリアは、できるだけ薄くしてください。

パノラマ エリアをSICAT Functionに合わせると、SICAT Functionは現在開いている計画の設定 を転送します。

パノラマ エリアを調整する手順は、*パノラマエリアを調整する [▶ページ 116]*の節をご覧ください。

SIDEXIS 4からのデータの転送

SICAT FunctionはSIDEXIS 4からボリュームの配置とパノラマ エリアを、最初にボリュームをSICAT Functionで開くときに転送します。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Functionはボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- SICAT Functionがサポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。SIDEXIS 4の各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Functionがサポートするパノラマエリアは、幅が10 mm以上のものに限ります。
- SICAT Functionがサポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限ります。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Functionはボリ ュームの配置とパノラマエリア、または、パノラマエリア単独のいずれかについては、転送し ません。



SICAT Functionでは、この場合に、その時点の3D X線撮影画像に関する情報の横に、お知らせア イコンを表示します。マウスポインタをお知らせアイコンの上に移動すると、次のお知らせが表 示されます。

- 受け入れられない設定とデータ。
- 操作説明書には、SICAT Functionでの設定方法が記載されています。

26.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関する一般的な情報は*ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する* [>*ページ 108]*に記載されています。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

- ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整するのウィンドウを開く
- 冠状ビューでボリュームを回す
- 矢状方向ビューでボリュームを回す
- **軸方向**ビューでボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンド ウを開く

☑ ワークフロー ステップの準備するは、すでに開いています。

ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。

▶ ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウが開きます。



冠状ビューでボリュームを回す

1. 冠状ビューを有効にします。





- 2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になってい る場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。
- 3. マウスポインタを回転スライダーに重ねます。
- 4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 5. 円形に沿って、お好みの方向へ回転スライダーを移動させます。
 - ▶ SICAT Functionでは、冠状ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
- 6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂 直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリュームを回す

1. 矢状方向ビューを有効にします。





- 2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になってい る場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。
- 3. マウスポインタを回転スライダーに重ねます。
- 4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 5. 円形に沿って、お好みの方向へ回転スライダーを移動させます。
 - ▶ SICAT Functionでは、**矢状方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
- 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂 直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. 軸方向ビューを有効にします。



- 2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、投影モードをアクティブにするアイコンをクリックしてください。
- その必要があれば、パノラマエリアの移動は、軸方向ビューで行います。このときは、パノ ラマエリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを 移動させます。SICAT Functionでは、パノラマエリアが移動すれば、それに応じて、回転 中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。
- 4. マウスポインタを回転スライダーに重ねます。
- 5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 6. 円形に沿って、お好みの方向へ回転スライダーを移動させます。
 - ▶ SICAT Functionでは、**軸方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しま すが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
- 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマエリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

- 8. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。
- ► SICAT Functionは調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整 するウィンドウでは、以下の各操作が可能です。 ■ 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、 希望のビューを有効にし、輝度およびコントラストの調整のアイコンを クリックしてください。これに関する情報は2Dビューの輝度およびコ ントラストの調整およびリセット />ページ 86 /を参照してください。 ■ ビューでズーミングすることができます。SICAT Functionは、冠状ビ ュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。 ■ デフォルト設定を保存するのボタンをクリックして、立体画像の現時点 の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保 存します。 ■ ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリ セットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。 ■ 調整した後の内容を保存する必要がないときは、中止するをクリックし てください。 ■ ビューアモードでデータを開いていた場合、データを閉じた後はカスタ マイズが有効になりません。

26.2 パノラマエリアを調整する

パノラマ エリアに関する一般的な情報は、*ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する* [*トページ 108]*の節をご覧ください。

パノラマ エリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

- ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整するのウィンドウを開く
- 軸方向ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマエリアを移動する
- **軸方向**ビューでボリュームを回す
- **サイズ、フォーム**および**厚さ**のパノラマ エリアを調整する

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンド ウを開く

☑ ワークフロー ステップの準備するは、すでに開いています。





軸方向ビューのレイヤー位置を調整する



- 1. **軸方向**ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。投影モードが有効に なっている場合は、**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックします。
- 2. パノラマビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、**軸方向**ビ ューの現在のレイヤー位置を示しています。
- 3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 4. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ 軸方向ビューのレイヤーは、パノラマビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
- 5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ **軸方向**ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマ エリアを移動する

- 1. 軸方向ビューで、マウスポインタをパノラマエリアに重ねます。
- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
- 3. マウスを動かします。
 - ► SICAT Function では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマエリアの調整が行われます。
- 4. パノラマ エリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放しま す。

▶ パノラマエリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリュームを回す

- 1. 軸方向ビューで、マウスポインタを回転調整つまみに重ねます。
- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. 円形に沿って、お好みの方向へ回転調節つまみを移動させます。
 - ▶ SICAT Function では、**軸方向**ビューで、回転調整つまみに合わせて、立体画像が回転中 心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われま す。
- 4. 下顎骨/歯の根がパノラマエリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放しま す。

パノラマ エリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する



1. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になってい る場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。



 パノラマエリアのサイズは、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このとき は、そのサイズに該当する、サイズのボタンをクリックします。



3. パノラマ エリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このと きは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。



 パノラマエリアの厚さを選択は、厚さのスライダー位置を移動させて行います。パノラマ エリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄く してください。

- 5. 調整した後の内容を保存するときは、OKをクリックします。
- ▶ SICAT Functionでは、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、いずれも調整した後の ものが保存され、パノラマビューは、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整 するウィンドウでは、以下の各操作が可能です。 ■ 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、 希望のビューを有効にし、輝度およびコントラストの調整のアイコンを クリックしてください。これに関する情報は2Dビューの輝度およびコ ントラストの調整およびリセット />ページ 86 /を参照してください。 ■ ビューでズーミングすることができます。SICAT Functionは、冠状ビ ュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。 ■ デフォルト設定を保存するのボタンをクリックして、立体画像の現時点 の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保 存します。 ■ ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリ セットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。 ■ 調整した後の内容を保存する必要がないときは、中止するをクリックし てください。 ■ ビューアモードでデータを開いていた場合、データを閉じた後はカスタ マイズが有効になりません。

27 顎運動データ

顎運動や顎の位置は、患者別で固有ですが、これらより患者の咀嚼動作に関する情報が得られま す。これらの情報は、患者の分析および診断のために利用することができます。さらに、これら のデータを患者の治療計画に組み込むこともできます。

SICAT Functionは、患者固有の顎運動と顎位置を可視化します。アプリケーションは、以下の顎 運動データソースを使用します。

- 顎運動撮影機器からの顎運動データ
- 顎運動撮影機器の静的位置
- ロ内カメラで撮影した頬の咀嚼位置

顎運動データを収集する機器として、ソフトウェアを使用できるもののリストは、互換性のある *顎運動撮影機器 [▶ページ 121]*の節をご覧ください。

頬の咀嚼位置光学印象と共にインポートすることができます。これに関する情報は*光学印象 [*> ページ 134]を参照してください。

顎運動データを表示するための準備をするには、顎運動データのインポートの他に、その他のス テップを実施する必要があります。これに関する情報は*SICAT Functionの標準ワークフロー [*> *ページ 35]*を参照してください。

必要なデータがすべて準備できたら、顎運動データに関する次の操作を行うことができます:

- 顎運動と連携する [▶ページ 153]
- 3Dビューで運動の軌跡を表示する [>ページ 156]
- 検査ウィンドウにより運動の軌跡を調整する [>ページ157]
- レイヤービューで十字線により運動の軌跡を調整する [トページ 158]

顎運動データに関する表示の正確性

0.6 mm以下

27.1 互換性のある顎運動撮影機器



必ず互換性のある顎運動撮影機器と対応している記録装置の組み合わせて取得した顎運動データ を使用してください。互換性のある顎運動撮影機器で撮影した顎運動データのみSICAT Function にインポートしてください。SICAT JTIフォーマットV1.0インターフェースに対応している顎運動 撮影機器で撮影した顎運動撮影データのみSICAT Functionにインポートすることができます。

現在、SICAT Functionは、次の顎運動撮影機器と顎運動記録装置の組合せに対応しています。

- SICAT JMT⁺とSICAT Fusion Biteの組合せ。製造元は、次のとおりです:SICAT GmbH & Co. KG
- SICAT JMTブルーとSICAT Fusion Biteの組み合わせ、製造元:zebris Medical GmbH

27.2 顎運動データをインポートして記録する

▲ 注意	 3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。 1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。 2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。
	不適切な頸運動データ田機架を使用すると、関連った診断な上び治
	不過切な現理動プーラ用機器を使用すると、間違うた診断のよび石 療になるおそれがあります。
 注意	必ず医療機器として承認されている機器の顎運動データを使用してくださ い。
	間違って撮影された顎運動データおよび3D X線撮影画像を使用する
•	と、間違った診断および治療になるおそれがあります。
/ <u>/</u> / 注音	顎運動データおよび3D X線撮影画像は、各機器のメーカーの指示に従って
71764	撮影してください。指定されたタイプの参照オブジェクトを使用してくだ さい。
	30人線撮影画像の思省とロ内が一致しない最運動データを使用する と、間違った診断および治療になるおそれがあります。
注意	顎運動データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日 付と一致していることを確認してください。
Â	・ 領理動テーダのインテクリティまたは面負が下方でない場合、 间遅った診断および治療になるおそれがあります。
 注意	インポートした顎運動データのインテグリティと品質を確認してくださ
	ι,
	頸 湄動データの只質 正確性 解偽度が十分でかい提合 明治った
	。 飛座動 アラジョー マジョー マジェー マジョー マジェー マジョー マジン マジェー マジョー マジョー マジョー マジェー マジョー マジョー マジ
注意	必ず目的とする診断および治療のために十分な品質、解像度、正確性の顎 運動データを利用してください。





- 1. **顎運動データをインポートして記録する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ のステップで、アシスタント機能**顎運動データをインポートして記録する**が開いています。
- アシスタントの **顎運動データをインポートして記録する** で、検索するのボタンをクリック します。

▶ JMT エクスポートファイルを読み込む のウィンドウが開きます。

- JMT エクスポートファイルを読み込むのウィンドウで、顎運動データを保存してある、お好みのファイルに変更したら、そのファイルをハイライト表示にして、開くをクリックします。
 - ▶ JMT エクスポートファイルを読み込むのウィンドウが閉じ、 SICAT Functionは、 顎運動 データを保存してある、お好みのファイルへのパスを、パスのボックスへ転送します。
 - ▶ バイトフォークビューには、顎運動データを記録する間に使用した咬合ピースのプレビューを表示します。
 - ▶ 患者 エリアと 撮影 エリアには、顎運動データのファイルに保存してある情報を表示します。



- 4. 顎運動データを含むファイルが現在のスタディに適合するか確認します。
- 5. 次へをクリックします。

۲ SICATSUIT 1 2 3、結果を確認する 3 4 **1** バイトフォーク-ビュー 3 選択されたマーキング **4** ボタン 次へ 2 軸方向-ビュー

▶ のステップが開きます。

- 6. 軸方向のレイヤービューにボールマーカーが1個以上表示されるまで、軸方向レイヤーをス クロールします。
- 7. 軸方向のレイヤービューで、ボールマーカーをダブルクリックします。 ▶ SICAT Function がボールマーカーにマークを付けます。
- 8. 3個のボールマーカーにマークが付けられるまで、最後の手順を繰り返します。
- 9. **次へ**をクリックします。
 - ▶ SICAT Function は顎運動データを記録します。



▶ のステップが開きます。

- 10. ボールマーカーが **バイトフォーク**上と**軸方向**レイヤービュー内で一致していることを確認し てください。
- 11. SICAT Functionでは、咬合ピースの位置が正確に認識されていることを、**冠状**ビューで確認 します。**軸方向**ビューで、冠状断の基準線を移動させるか、または、**冠状**ビューで、断層面 をスクロールします。
- 12. **完了**をクリックします。
- ▶ SICAT Function は記録済みの顎運動データをインポートします。
- ▶ アシスタント機能の **顎運動データをインポートして記録する** が閉じます。
- ► SICAT Function では、オブジェクトブラウザで、顎運動データのオブジェクトを表示します。これに関する情報はSICAT Functionオブジェクト [トページ 70]を参照してください。

記載されている手順に加え、以下の操作が**顎運動データをインポートして** 記録するで使用できます。
 前回セットしたマーカーを取り消したいときは、前回のマーキングを削除するのボタンをクリックします。
 バイトフォークがX線データに正確に合わせられていない場合、戻るボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーでの手順を繰り返します。
 顎運動データのインポートおよび記録を中断する場合、中止するをクリックすることができます。

28 セグメンテーション

<u>♪</u> 注意	3D X線撮影画像の過度なアーチファクトまたは不十分な解像度は、 セグメンテーションプロセスの失敗または不十分な結果につながる おそれがあります。例:3D X線撮影画像の過度なアーチファクト は、モーション/メタルアーチファクトの可能性があります。 解剖学的構造関連のセグメンテーションの品質が十分である3D X線撮影画 像のみ使用してください。
▲ 注意	セグメンテーションの品質が十分でない場合、間違った診断および 治療になるおそれがあります。 セグメンテーションの品質が使用目的に対して十分であるか確認してくだ さい。

下顎骨の運動を表示するときは、下顎骨と背景の境界線を指定してください。これがセグメンテ ーションと呼ばれます。**下顎のセグメンテーション**で、患者の下顎と窩の両方ともセグメントす ることができます。SICAT Functionでは、セグメンテーションは半自動プロセスです。

半自動プロセスとは、下顎と窩のパーツを描画ツールにより手動で **下顎のセグメンテーション** に描かなくてはならないことを意味します。マークを付けると、セグメンテーションアシストは 類似のエリアを自動指定します。

下顎と窩のセグメンテーション用として、以下の操作を行うことができます。

- 下顎骨をセグメントする [▶ページ 128]
- 窩をセグメントする [>ページ 131]

下顎をセグメントした後、以下の操作を行うことができます。

- **3D**ビューでの患者の解剖学的動作の可視化および再生。これに関する情報は*顎運動と連携す る* [▶ページ153]を参照してください。
- **3D**ビューでの患者の解剖学的運動経路の可視化および再生。これに関する情報は*3Dビューで* 運動の軌跡を表示する [>ページ156]を参照してください。
- TMJのワークスペースで、移動後の顎関節をビジュアル化する。これに関する情報は*TMJワ ークスペースの各種機能 [▶ページ 159]*を参照してください。

1

2

3

4

28.1 下顎骨をセグメントする



セグメンテーションに関する内容は、*セグメンテーション [▶ページ 127]*の節をご覧ください。 下顎骨をセグメントするには、次のように行います。

 ☑ ワークフロー・ステップの診断するは、展開させておきます。これに関する情報はワークフ ローのツールバー [▶ページ 62]を参照してください。



- 1. 下顎と顆状突起をセグメントするのアイコンをクリックします。
 - <complex-block>
 - 1
 事例ビデオ
 3
 ボタンリセットする、ボタン戻す、およ びボタン 繰り返す

 2
 エリア 描画ツール
 4
 ボタン OK
 - ▶ アシスタント機能の下顎のセグメンテーションは、セグメントの事前計算を実行します。
- 2. 軸方向ビュー、冠状ビュー、矢状方向ビューを下顎と窩が見えるように調整します。



- 3. 下顎のボタンをクリックします。
- 4. マウスポインタを希望の2Dレイヤービューで下顎骨上に動かします。
 ▶ マウスポインタはペンになります。

- 5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 6. 下顎骨の内側の部分でマウスをドラッグします。
 - ▶ SICAT Function に、青色の線によるマーキングが表示されます。
- 7. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Function はマーキングに従って下顎骨をセグメントします。
- 8. 補助エリアを下顎骨に追加する場合、**ナビゲーション**アイコンをクリックし、2Dビュー内で 希望の構造に移動し、これらに上記の手順でマークを付けます。
- 9. セグメンテーションが希望通りの場合、OK ボタンをクリックします。
- ▶ アシスタント機能の **下顎のセグメンテーション** が閉じます。
- ▶ SICAT Function では、オブジェクトブラウザで、ボリューム-部位のオブジェクトを表示します。これに関する情報はSICAT Functionオブジェクト [▶ページ 70]を参照してください。
- ▶ 3Dビューにセグメンテーション結果が表示されます



背景描画ツールは、範囲に背景としてマークを付ける、または半自動セグメンテーションの大き 過ぎる範囲を修正する際に使用することができます。

セグメント作業は、後からの時点でも、再開したり、修正したりすることが可能です。

ナビゲーションモードに切り替えると、2Dレイヤービューをスクロールすることができます。





28.2 窩をセグメントする

TMJのワークスペースを導入すると、大半のケースで、窩のセグメントが不可欠ではなくなりま す。また、TMJのワークスペースを利用すると、窩のセグメントをすることなく、下顎と窩の動 的な相互関係についても、評価を行うことができるようになります。



アシスタント機能の**下顎と顆状突起をセグメントする**は、起動時に毎回セ グメントの事前計算を実行します。事前計算の時間は、使用するコンピ ューターの性能によって異なります。



SICAT Function のセグメンテーションは解剖学的輪郭の代わりにエリアで 作業します。従って、解剖学的輪郭を正確にトレースする必要はあまりあ りません。それに代えて、そのエリアの内部にラインを引いて、セグメン ト化に関係するエリアを指定してください。

セグメンテーションに関する内容は、*セグメンテーション [▶ページ 127]*の節をご覧ください。 窩をセグメントするには、次のように行います。

☑ ワークフロー ステップの診断するは、すでに開いています。これに関する情報はワークフロ ーのツールバー [▶ページ 62]を参照してください。

☑ DVT画像は窩を含みます。



下顎と顆状突起をセグメントするのアイコンをクリックします。

 アシスタント機能の下顎のセグメンテーションが開きます。



- ▶ アシスタント機能の下顎のセグメンテーションは、セグメントの事前計算を実行します。
- 2. **軸方向**ビュー、**冠状**ビュー、または**矢状方向**ビューを下顎と窩が見えるように調整します。



- 3. **窩**のボタンをクリックします。
- 4. マウスポインタを希望の2Dレイヤービューで窩上に動かします。
 ▶ マウスポインタはペンになります。
- 5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 6. 窩の内側部分でマウスをドラッグします。
 - ▶ SICAT Functionに、緑色の線によるマーキングが表示されます。
- 7. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Functionはマーキングに従って窩をセグメントします。
- 8. 補助エリアを窩に追加する場合、**ナビゲーション**アイコンをクリックし、2Dビュー内で希望 の構造に移動し、これらに上記の手順でマークを付けます。
- 9. セグメンテーションが希望通りの場合、OKのボタンをクリックします。
- ▶ アシスタント機能の下顎のセグメンテーションが閉じます。
- ► SICAT Functionでは、オブジェクトブラウザで、ボリューム-部位のオブジェクトを表示します。これに関する情報はSICAT Functionオブジェクト [トページ 70]を参照してください。
- ▶ 3Dビューにセグメンテーション結果が表示されます。



背景描画ツールは、範囲に背景としてマークを付ける、または半自動セグメンテーションの大き 過ぎる範囲を修正する際に使用することができます。

セグメント作業は、後からの時点でも、再開したり、修正したりすることが可能です。

ナビゲーションモードに切り替えると、2Dレイヤービューをスクロールすることができます。





29 光学印象



同じ患者について、SICAT Functionは3D X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、 その両者を重ね合わせることが (記録することが) できます。表示の重ね合わせは、計画および実 施のための追加情報を提供します。これにより、光学印象に基づいて治療を実施することができ ます。

光学印象を使用するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 1. 以下のインポートルートによる光学印象のインポート。
 - Hubから光学印象をダウンロードする [>ページ137]
 - ファイルから光学印象をインポートする [>ページ 141]
 - SIDEXIS 4から光学印象を転送する [>ページ 144]
 - SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する [>ページ 146]
- 2. 3D X線データによる光学印象の記録 (重ね合わせ)。 光学印象の記録と確認 [>ページ 148]



SICAT Functionは、次の光学印象用ファイル形式に対応しています。

- SIXD上顎と下顎の光学的印象を含むデータセット (それぞれ顎弓全体)。SIXDフォーマットを サポートするCERECシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- SSI上顎と下顎の光学的印象を含むデータセット (それぞれ顎弓全体)。SIXDフォーマットをサポートしていないCERECシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- STL上顎、または下顎の光学印象を含むデータセット*(それぞれ顎弓全体)。STLフォーマット をサポートする他のCAD/CAMシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用して ください。

*STLデータセットには、有効になっている**SICAT Suite STLインポート**ライセンスが必要です。 さらに、インポートするための追加の手順に従う必要があります。これに関する情報は*STLフ ォーマットの光学印象の場合の追加手順 [*>ページ 143]を参照してください。

STLデータセットにおける光学印象の以下の制限に注意してください。

- STLデータセットは頬側咬合位をサポートしていません。アクティブな 顎間関係エリアでは、アクティブな顎関係:リストに頬側顎間関係の入 力は表示されません。
- STLデータセットをベースに顎運動データをエクスポートすることはで きません。JMTエリアのJMTXDをエクスポートしますのボタンをクリ ックすると、SICAT Functionは適切なメッセージを表示します。

次のアクションは光学印象に使用することができます。

- 光学印象を有効化、非表示、および表示する。オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [>ページ 66]
- 光学印象に焦点を合わせて削除する。オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理[>ページ 68]
- カラーの光学印象の表示を設定する。光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [トペ ージ 107]

29.1 光学印象をインポートする

<u>♪</u> 注意	 3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。 1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。 2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。
▲ 注意	不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療に なるおそれがあります。 必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してくだ さい。
▲ 注意	3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用す ると、間違った診断および治療になるおそれがあります。 患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付 と一致していることを確認してください。
▲ 注意	光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間 違った診断および治療になるおそれがあります。 インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してくださ い。
▲ 注意	光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診 断および治療になるおそれがあります。 必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印 象データを利用してください。

29.1.1 HUBから光学印象をダウンロードする

光学印象をHubからSIXDフォーマットでダウンロードし、SICAT Functionにインポートできます。

- ☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報はHub接続状態を表示する [▶ページ 203]
 を参照してください。
- ☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は ライセンス [▶ペー ジ 48]を参照してください。
- ☑ ワークフロー ステップの診断するは、展開させておきます。



- 1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。
 - ► SICAT Functionは、光学印象をインポートし記録するアシスタント機能をインポートするステップで開きます。



- 2. Hubからダウンロードするのタブをクリックします。
 - ▶ SICAT Function保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。



3. 希望する光学印象をクリックしてください。

- ► SICAT Function は、印象がまだダウンロードされていない場合は、光学印象をダウンロードします。印象がダウンロードされると、SICAT Functionは印象を3Dビューで表示します。
- 4. 記録の選択を確認してください。
- 5. 撮影画像情報と患者情報が一致するか確認してください。
- 6. 顎を光学印象エリアで確認します。
- 7. **次へ**をクリックします。
 - ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Functionが異な る患者情報ウィンドウを開きます。

	■・異なる患者情報				
		現在の患者	光学印象		
	姓:	Green		8	
	名:	Patricia		8	
	誕生日:	1956/05/02		8	
	患者 ID:	54684072		8	
🧹 有 😫 いいえ、キャンセルします					

- 8. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせ て調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ 登録するステップが最初の光学印象用に開きます。光学印象の記録と確認 [▶ページ148] セクションの手順に従ってください。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、光学印象をインポートし記録するアシスタント機能が患者データを常時表示し、匿名にする設定を無視します。



29.1.1.1 光学印象のスキャンジョブを作成する

Hubに光学印象をスキャンするジョブを送ることができます。

- ☑ SIDEXIS 4はHubに接続しました。これに関する情報は*Hub接続状態を表示する* [▶ページ 203]を参照してください。
- ☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は ライセンス [▶ペー ジ 48]を参照してください。
- ☑ ワークフロー ステップの診断するは、すでに開いています。
- 1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。
 - ▶ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能はインポートするステップで開きます。



- 2. Hubからダウンロードするのタブをクリックします。
 - ▶ SICAT Function保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。



- 3. 新しいスキャンジョブのアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Functionは、新しいスキャンジョブウィンドウを表示します。スキャンジョブの 情報を指定できます。
- 4. 医師を選択します。
- 5. 必要に応じて、例えば、スキャンの指示といった追加情報を入力してください。
- 6. スキャンジョブをHubに送信するには、**スキャンジョブの作成**をクリックし、照会を**OK**で 確定します。
- ► SICAT FunctionはスキャンジョブをHubに送信し、保留中のスキャンジョブをHubからダウンロードするタブに図アイコンで表示します。
- ▶ CERECでスキャンジョブを編集し、CERECで光学印象を記録できます。

29.1.2 ファイルから光学印象をインポートする

光学印象付きの1つ以上のファイルをインポートできます。



☑ ワークフロー ステップの診断するは、展開させておきます。



- 1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。
 - ▶ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能はインポートするステップで開きます。
- 2. ファイルのインポートのタブをクリックします。

	W 光平印刷オインボートし記録する - Green、Patricia *1956/05/02		= ×	
1	🔁 HubBe9320-F 😨 🗸 🔫 SICAT7709-232BeR4/R 🕲 📔 77476042#+ 🖓 Sideek 4B5KE		光学印象をインボートし記録する インボートする	
<u>т</u>	102		1. 1.7% ドラのルテル制度 ほんていの フラビットを選択してください。 2. 撮影および患者情報を確認してください。オブ	2
			登録于6 確認する	J
2				4
	撮影 日付:不明 	光学印象		
	2,374 不明 ★学研集の単単目時がポリニームの単単目時だ大きく異なっている事 は、注意がみて重要になることがあります。 ▲ 主要時間電が一覧しないた。不完全です。 ▲ 書前間電が一覧しないた。不完全です。	78¢		5
			★ 次へ 第 中止36	
1	ファイルのインポート タブ	4 患者情報		
2	撮影図情報	<mark>5</mark> 光学印象エリア		
3	検索する のボタン			

- 3. 検索するのボタンをクリックします。
- 4. ファイルを光学印象で開くウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファ イルを選択し、開くをクリックします。
 - ▶ SICAT Functionは、選択したファイルを開きます。

- 5. STLファイルで顎の割り当てと向きを指定します。上顎または下顎の光学印象付きのSTLファイルを選択すると、顎の割り当てと向きを調整できることにより、SICAT Functionがウィンドウを1つ開きます。STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ143]の手順に従ってください。 欠如していた上顎または下顎の別のSTLファイルを選択し、顎の割り当てと方向を調整することができます。続いて、次のステップに進んでください。
- 6. 記録の選択を確認してください。
- 7. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。
- 8. 顎を光学印象エリアで確認します。
- 9. **次へ**をクリックします。
 - ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Functionが異な る患者情報ウィンドウを開きます。

	▶異なる患者	皆情報		×	
		現在の患者	光学印象		
	姓:	Green		8	
	名:	Patricia		8	
	誕生日:	1956/05/02		8	
	患者 ID:	54684072		8	
	🧹 有 🗮 いいえ、キャンセルします				

- 10. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせ て調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ 登録するステップが最初の光学印象用に開きます。光学印象の記録と確認 [▶ページ148] セクションの手順に従ってください。



29.1.2.1 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向き を必要に応じて調整する必要があります。

☑ SICAT Suite STL Importライセンスは既に有効化済みです。

- 1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報はファイルから光学印象を インポートする [>ページ 141]を参照してください。
 - ▶ ウィンドウSTL Import-Assistentが開きます。

STLインポートアシスタント		*	
顎	向き	パラメーター	1
顎に応じてインポートしたデータを選択してください。	矢印でインポートしたデータの向きを修正してください。 その際、左図を参考として使用してください。	内側と外側を誤ったと思われる場合は両側を交換し てください。	T
上顎骨	5 F		2
			2
The cost			2
下顎骨	L MARTIN	Million and Million	3
	Con all		
		💊 ок 💥 中止する	
1 顎の選択	3 内側と	こ外側の交換	
2 向きの変更			

2. **顎**エリアで光学印象が**上顎骨**か**下顎骨**のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。



- 3. 大まかな事前配置のために、**方向**エリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックする ことで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。
- パラメータエリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。
- 5. OKのボタンをクリックします。
- 6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Functionは、2 つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。
 - ▶ SICAT Functionは、インポートした光学印象を**光学印象をインポートし記録する**アシス タント機能に表示します。
- 7. 光学印象のインポートに進みます。これに関する情報はファイルから光学印象をインポート *する* [>ページ 141]を参照してください。

29.1.3 SIDEXIS 4から光学印象を転送する

SIDEXIS 4にインポートされていて、すでに使用されているSTL形式の光学印象をSIDEXIS 4から SICAT Functionに転送できます。



- ☑ 開いているスタディ用にSIDEXIS 4で、まだSICAT Functionで使用していない2つの顎の光学 印象を使用します。
- ☑ ワークフロー ステップの診断するは、展開させておきます。



- 1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。
 - ▶ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能はインポートするステップで開きます。
- 2. Sidexis 4から転送のタブをクリックします。タブは、少なくとも1つのSIDEXIS 4の光学印象がSICAT Functionの計画に適している場合にのみ表示されます。
- 3. 上のエリアにある転送したい光学印象のラインをクリックします。
 - ▶ SICAT Functionに選択した複数の光学印象が表示されます。


- 4. 記録の選択を確認してください。
- 5. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。
- 6. 顎を光学印象エリアで確認します。
- 7. **次へ**をクリックします。
 - ▶ 登録するステップが最初の光学印象用に開きます。光学印象の記録と確認 [▶ページ 148] セクションの手順に従ってください。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、光学印象をインポートし記録するアシスタント機能が患者データを常時表示し、匿名にする設定を無視します。

29.1.4 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する

SICATアプリケーションから光学印象を再利用することができます。

 STLデータセットにおける光学印象の以下の制限に注意してください。
 STLデータセットは頬側咬合位をサポートしていません。アクティブな 顎間関係エリアでは、アクティブな顎関係:リストに頬側顎間関係の入 力は表示されません。
 STLデータセットをベースに顎運動データをエクスポートすることはで きません。JMTエリアのJMTXDをエクスポートしますのボタンをクリ ックすると、SICAT Functionは適切なメッセージを表示します。

- ☑ 開いているスタディのために、SICAT Functionでまだ使用していない、適合する複数の光学 印象をSICATアプリケーションにすでにインポートしました。
- ☑ ワークフロー ステップの診断するは、展開させておきます。



- 1. 光学印象をインポートし記録するのアイコンをクリックします。
 - ▶ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能はインポートするステップで開きます。
- 2. SICATアプリケーションから再利用のタブをクリックします。
- 3. 上のエリアにある再利用したい複数の光学印象のラインをクリックします。
 - ▶ SICAT Functionに選択した複数の光学印象が表示されます。



4. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

- 5. 顎を光学印象エリアで確認します。
- 6. **完了**のボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Functionは光学印象をインポートし記録するアシスタント機能を閉じます。
- ▶ SICAT Functionは選択した複数の光学印象をオブジェクトブラウザに追加します。
- ▶ SICAT Functionは選択した複数の光学印象を表示します。



これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が 患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

29.2 光学印象の記録と確認

▲ 注意	間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用す ると、間違った診断および治療になるおそれがあります。 記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確 認してください。
<u>♪</u> 注意	過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の 欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。 例:3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタ ルアーチファクトです。 必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してく ださい。
<u>♪</u> 注意	互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、 間違った診断および治療につながるおそれがあります。 光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマ ーキングで慎重に選択します。
·	
i	光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、 検査ウィン ドウ を使用することができます。 検査ウィンドウ を移動し、 検査ウィンド ウ でレイヤーをスクロールすることができます。
1	カラー光学印象は インポートする ステップで、3Dプレビューに自動的にカ ラーで表示されます。 登録する ステップ、および 確認する ステップでは、 カラーの光学印象はモノクロで表示され、形状とジオメトリをより正確に 確認できます。

光学印象を記録および確認するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



☑ 光学印象をインポートし記録するアシスタント機能は登録するステップで開いています。

- 1 輝度およびコントラストの調整アイコン
 4 アクティブなマーカーペアを削除するのボタン

 2 パノラマビュー
 5 3Dビューは、最初の光学印象を表示します

 3 パノラマエリアを調整するのボタン
 6 次へのボタン
- パノラマビューと3Dビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。 その際、個々の歯の間にある大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマー クしてください。両方のビューで一致する歯が3本以上識別表示されるまで、この手順を繰 り返します。
 - ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。
- 2. **次へ**をクリックします。
 - ▶ SICAT Functionは、X線データによる光学印象の記録を計算します。

▶ 確認するのステップが開きます。



- 3. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dビューを確認してください。レイヤーを **各レイヤービュー**でスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。
- 4. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る**のボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで**登録する**の手順を繰り返します。
- 5. 最初の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、次へのボタンをクリックしま す。2回目の光学印象について前の手順を繰り返します。
- 6. 2回目の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了**のボタンをクリックしま す。
- ▶ SICAT Functionは光学印象をインポートし記録するアシスタント機能を閉じます。
- ▶ SICAT Functionは選択した複数の光学印象をオブジェクトブラウザに追加します。
- ▶ SICAT Functionに記録されている光学印象が表示されます。



30 解剖学的な咬合

SICAT Functionは患者の解剖学的な咬合をビジュアル化できます。すなわち、測定機器で顎運動 を記録し、ソフトウェアがその顎運動データと3D X線撮影画像とを同期させます。これを解剖学 的な咬合と呼びます。下顎骨をセグメントすると、顎関節に至るまで、患者の顎運動をもれなく 再現できます。

SICAT Functionには解剖学的な咬合に以下のデータが必要です。

- セグメントされた3D X線撮影データ これに関する情報は、セグメンテーション [▶ページ 127]を参照してください。
- 記録された顎運動データ これに関する情報は、*顎運動データ [▶ページ 120]*を参照してくだ さい。

SICAT Functionは、光学印象を追加の情報源として利用するこができます。例えば、顎を完全に 閉じる咬合までの顎運動が、光学印象を利用して解析できます。これに関する情報は*光学印象 [*>ページ 134]を参照してください。

これらのツールを使用して、患者の個々の下顎運動を判定することができます。

- アクティブな顎間関係エリア これに関する情報は*顎運動と連携する* [>ページ153]を参照してください。アクティブな顎間関係エリアでは、動画再生ボタンを押すと、3Dビュー内で、患者の下顎骨の運動を個別に再生できます。さらに、アクティブな顎間関係エリアでは、顎運動データをエクスポートできるボタンが用意されています。
- **3D**ビュー これに関する情報は*3Dビューの調整* [> ページ 96]を参照してください。
- 検査ウィンドウ これに関する情報は検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化
 ページ 91]を参照してください。

患者の下顎骨の個々の動作を判定するために、2Dレイヤービューで十字線を下顎骨の選択した位置にセットします。 SICAT Functionはその後、**3D**ビューで、選択しておいた位置に、その位置に対応する運動の軌跡を表示します。これに関する情報は*十字線およびフレームの移動、非表示、表示* [▶ページ 90]を参照してください。

また、**検査ウィンドウ**を下顎骨の選択した位置にセットすることもできます。これに関する情報 は*3Dビューで運動の軌跡を表示する [>ページ 156]*を参照してください。

3Dビューでは、SICAT Functionは、選択した位置がセグメントされた下顎骨上または外側にある か、様々な色で表示します。これに関する情報は*検査ウィンドウにより運動の軌跡を調整する* [▶ページ157]とレイヤービューで十字線により運動の軌跡を調整する [▶ページ158]を参照して ください。

30.1 顎運動と連携する

顎運動データを管理するために、SICAT Functionでは、**アクティブな顎間関係**エリアが用意され ています。



アクティブな顎間関係エリアでは、これで次の操作を行うことができます。

- 静的な顎関係または顎運動を選択する。
- 顎運動と連携する。
- ブックマークを管理する。
- 治療位置を設定する。これに関する情報は治療位置の設定 [>ページ 181]を参照してください。
- 顎運動データをエクスポートする。

静的な顎関係または顎運動を選択する

静的な顎関係や動的な顎関係を選択するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- アクティブな顎関係:リストをクリックします。
 アクティブな顎関係:リストが開きます。
- 2. 希望の静的な顎関係または、動的な顎関係を選択します。
 - ▶ **アクティブな顎関係:**リストが閉じます。
- **○** ▶ アクティブな顎間関係エリアでは、顎の相対関係のうち、選択したものの名称を表示します。
 - ▶ 3Dビューに選択した顎関係が表示されます。

顎運動と連携する

顎運動と連携するには、次のように行います:

☑ 顎運動データはすでにインポートされています。これに関する情報は*顎運動データをインポ* ートして記録する [▶ページ 122]を参照してください。



- 1. 動画の再生を開始するときは、開始アイコンをクリックします。
- - 2. 動画の再生を停止するときは、**停止**アイコンをクリックします。
 - 3. フレームを早送りには、**次に進む**アイコンをクリックします。
- (ϵ)
- 4. フレームを巻き戻すには、**前に戻る**アイコンをクリックします。



- 5. 再生モードをシングルとエンドレスの間で切り替える時は、**再生モードを切り替える**アイコ ンをクリックします。
- 6. 時間軸上の位置を手動で変更する時は、JMTエリアのスライダーをクリックし、マウスを動 かし、希望の位置でマウスの左ボタンから指を放します。

JMTエリアでブックマークを管理する

JMTエリアでブックマークを管理するには、次の手順で行います。



1. 時間軸上の現在の位置にブックマークを追加するには、**ブックマークを追加**アイコンをクリ ックします。



2. 時間軸上の現在の位置からブックマークを削除するには、**ブックマークを削除**アイコンをク リックします。



3. スライダーを次のブックマークの位置に移動させるには、**次のブックマークに進む**アイコン をクリックします。



 スライダーを前のブックマークの位置に移動させるには、前のブックマークに戻るアイコン をクリックします。

以下の場合は、ブックマークを削除することができません。

- 治療位置として指定したブックマークがあり、その治療位置に関係する注文がカートに入っている場合です。そのブックマークを削除するときは、注文を完了するか、または、注文を削除するかのいずれかを行ってください。
- 削除するために選択したブックマークが、顎の相対関係で、表示中のものにセットしてある 場合。そのブックマークを削除するときは、運動の軌跡か、または、静止した状態の顎の相 対関係で、該当するものを選択して、次のブックマークに進むアイコンをクリックします。

顎運動データをエクスポートします

顎運動データをエクスポートには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 顎運動データはすでにインポートされ、記録されています。

☑ 両顎の光学印象はすでにインポートされ、記録されています。



- JMTXDをエクスポートしますのボタンをクリックします。
 ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
- 2. ディレクトリを選択し、必要に応じてファイル名を変更してください。
- 3. 保存のボタンをクリックします。
- ▶ SICAT FunctionはWindowsファイルエクスプローラーウィンドウを閉じます。
- ▶ SICAT Functionは指定したファイルへ顎運動データと光学印象をエクスポートします (ファイ ル形式は、JMTXDで、CEREC 4.4以降やInLab 15以降で使用できます)。



事前に設定で匿名化をアクティブにすると、顎運動データを匿名でエクス ポートすることができます。

30.2 3Dビューで運動の軌跡を表示する

顎運動の軌跡では、動きの3次元推移を下顎骨の各点個別に表示します。従来式のアキシオグラ フ装置で描く軌跡と類似しています。運動の軌跡を表示する各点は、軌跡点と呼びます。SICAT Functionでは、軌跡点を任意に選択できます。JMTエリアで患者の個々の運動を選択し、**3D**ビ ューで判定することができます。JMTエリアに関する内容は、*顎運動と連携する* [▶ページ153] の節をご覧ください。

運動経路を3Dビューで表示させるには、次の手順を実行する必要があります。

- 3D X線撮影画像を含む顎運動データを記録します。これに関する情報は、*顎運動データ [>ペ ージ 120]*の節をご覧ください。
- セグメントされた3D X線撮影画像 これに関する情報は、*セグメンテーション* [▶ページ 127] の節をご覧ください。

顎運動データをインポートし、3D X線撮影画像を3セグメントした後、**3D**ビューは、次に3D X線 撮影図の元の関係を示します。撮影された動作を選択すると、**3D**ビューに運動経路が表示されま す。

SICAT Function 様々な色によって運動経路の位置を識別表示します。

- SICAT Functionでは、運動の軌跡が患者の下顎骨上にあるときは、この軌跡を緑色で表示します。
- SICAT Functionでは、運動の軌跡が患者の下顎骨上にないときは、この軌跡を赤色で表示します。

解剖学的運動経路は、患者の下顎骨上にセットすることができます。これに関する情報は*検査ウ* ィンドウにより運動の軌跡を調整する [>ページ 157]とレイヤービューで十字線により運動の軌 跡を調整する [>ページ 158]を参照してください。

3Dビューの表示タイプを選択し、これを需要に応じて調整することができます。これに関する情報は*3Dビューの調整* [▶ページ 96]を参照してください。

軌跡点は、異なる3点を結んで表示させることができます。これに関する情報は*Bonwillの三角を 利用する [*▶*ページ 162]*を参照してください。

セグメントした部分の境界線は、表示したり隠したりの切替ができます。これに関する情報は*セグメンテーション限度の表示* [>ページ163]を参照してください。

顎運動は、下顎頭を中心にして表示させることができますこれに関する情報は*下顎頭方向の運動 を表示する [▶ページ 164]*を参照してください。

30.3 検査ウィンドウにより運動の軌跡を調整する

下顎骨全体で患者の顎運動を個別に解析する目的で、**検査ウィンドウ**を利用するには、次の手順 で行います:

- ☑ パノラマワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報はワークスペースを切り替える [▶ページ 78]を参照してください。
- ☑ パノラマ画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ページ 84]を参照してください。
- ☑ 検査ウィンドウは、隠さず表示しておきます。これに関する情報は検査ウィンドウの移動、 非表示、表示、および最大化 [▶ページ91]を参照してください。
 - 検査ウィンドウを希望の部位に動かします。



▶ SICAT Function 運動経路の位置を3Dビューで検査ウィンドウの位置に応じて更新します。その時点で最新の軌跡点は、検査ウィンドウの十字線で囲まれています。

▶ 運動経路は新しい位置にあります。

軌跡点が患者の下顎骨を外れた箇所にあるときは、運動経路を患者の下顎骨上に位置決めするこ とが可能です。これに関する情報は*レイヤービューで十字線により運動の軌跡を調整する* [▶ペ ージ158]を参照してください。



検査ウィンドウを直ちに希望の解剖学的部位に移動させるには、**パノラマ** ビューで希望の位置をダブルクリックします。

30.4 レイヤービューで十字線により運動の軌跡を調整する

下顎骨全体で患者の顎運動を個別に解析する目的で、十字線を利用するには、次の手順で行いま す:

- ☑ 十字線は現在2Dレイヤービューに表示されています。これに関する情報は*十字線およびフレ ームの移動、非表示、表示 [▶ページ 90]*を参照してください。
- 1. 任意の2Dレイヤービューをアクティブにします。これに関する情報は*アクティブなビューの* 切り替え [>ページ 84]を参照してください。
- 2. 十字線を希望の解剖学的部位に動かします。これに関する情報は*十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [>ページ 90]*を参照してください。



▶ SICAT Function 運動経路の位置を3Dビューで十字線の位置に更新します。



3Dビューでは、SICAT Functionは患者の下顎骨以外の位置を選択すると、 運動経路を赤色で識別表示します。



十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブ ルクリックすることができます。

31 TMJワークスペースの各種機能

TMJワークスペースは、顎関節機能障害の診断と治療計画の立案を行うときに役立ちます。DV T画像に応じて、TMJワークスペースでは、形態と運動の面から、顎関節を左側と右側とで互い に比較できます。

TMJワークスペースでは、1つの顎運動ごとで3種類の異なる、運動経路を表示できます。



- 左側の下顎頭の軌跡
- 右側の下顎頭の軌跡
- 咬合上にある1点の軌跡。例えば、上下顎中切歯の交点

TMJワークスペースのレイヤービューでは、左側と右側のそれぞれについて、下顎頭の軌跡点を 移動させることができます。これに関する情報は*軌跡点を移動する [▶ページ 160]*を参照してく ださい。

3Dビューでは、ダブルクリックにより、上下顎中切歯の交点の軌跡点をセットできます。これに 関する情報は*上下顎中切歯の交点をセットする* [▶ページ 161]を参照してください。

患者の解剖学的咬合について、個別に所見の検討を行うにあたっては、TMJワークスペースにオ プションとして追加されているアイテムがいくらかあります。これに関する情報は*セグメンテー* ション限度の表示 [▶ページ163]、下顎頭方向の運動を表示する [▶ページ164]およびBonwillの 三角を利用する [▶ページ162]を参照してください。同様にBonwillの三角は咬合器値の読み取り に使用できます。これに関する情報は*咬合器値* [▶ページ165]を参照してください。

31.1 軌跡点を移動する

SICAT Function では、下顎頭の左側と右側とで互いに対応する軌跡点の軌跡を同時に表示します。この軌跡を利用すると、顎関節の運動全体を左右相互で比較することができます。

レイヤービューで、下顎頭の左側と右側の各軌跡点を移動させるには、次の手順で行います。

- ☑ TMJワークスペースはすでに開いています。TMJワークスペースに関する一般的な情報は、 TMJワークスペースの各種機能 [▶ページ 159]と TMJワークスペースに関する概要 [▶ページ 75]の節をご覧ください。
- ☑ 既に動的顎関係が選択されています。
- 1. マウスポインタを希望の軌跡点上に動かします。
- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスポインタをご希望の軌跡点の位置に動かします。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Function レイヤービューで、選択しておいた位置へ下顎頭の左側と右側の各軌跡 点が移動します。



31.2 上下顎中切歯の交点をセットする

3Dビューで、上下顎中切歯の交点をセットするには、次の手順で行います。

- ☑ TMJワークスペースはすでに開いています。TMJワークスペースに関する一般的な情報は、 TMJワークスペースの各種機能 [▶ページ 159]と TMJワークスペースに関する概要 [▶ページ 75]の節をご覧ください。
- ☑ 既に動的顎関係が選択されています。
 - 3Dビューでマウスポインタをお好みの位置に重ねたら、左マウスボタンをダブルクリックします。



▶ SICAT Function では、光学印象上で選択した位置を軌跡点として利用します。



上下顎中切歯の交点を正面から見ると、下顎の側方運動が識別できてより 詳細な観察が可能になります。

31.3 BONWILLの三角を利用する

BONWILLの三角を表示する

SICAT Functionでは、**Bonwillの三角**により、3点の軌跡点を結んで表示します。顎運動に非対称 性や急激な変動があれば、この表示により、それらがより特定しやすくなります。

Bonwillの三角を表示するには、次の手順で行います:

- ☑ TMJワークスペースはすでに開いています。TMJワークスペースに関する一般的な情報は、 TMJワークスペースの各種機能 [▶ページ 159]と TMJワークスペースに関する概要 [▶ページ 75]の節をご覧ください。
- ☑ 既に動的顎関係が選択されています。
 - オブジェクトブラウザで、顎運動データをクリックします。
 - ▶ SICAT Function プロパティの下にBonwillの三角を表示します。



BONWILLの三角の構成設定を行う

Bonwillの三角の表示個数を設定するには、次の手順で行います。

- 1. オブジェクトブラウザで、顎運動データをクリックします。
- 2. プロパティエリアにあるステップ幅横の上下矢印キーのいずれかをクリックします。
- ▶ SICAT Function では、ステップ幅のボックスの数値が切り替わります。
- ▶ 3Dビューでは、選択した個数でBonwillの三角が表示されます。



31.4 セグメンテーション限度の表示

セグメンテーション限度の表示ようにしておくと、セグメント化の質を3D X線撮影画像と比較す ることができます。セグメントした部分の境界線が3D X線撮影画像と異なるときは、**下顎と顆状 突起をセグメントする**のウィンドウで、セグメントした部分を修正することができます。

青色の輪郭線は、現時点での運動に基づく下顎頭の位置を表示します。そのため、通常、この青 色の輪郭線が3D X線撮影画像と重なって一致することはなく、セグメントの質をチェックする目 的には、適切ではありません。代わりに黄色い輪郭をセグメンテーション限度のチェックに使用 してください。

- セグメンテーション限度の表示には、次の手順で行います。
- ☑ TMJワークスペースはすでに開いています。TMJワークスペースに関する一般的な情報は、 以下の節をご覧ください。 TMJワークスペースの各種機能 [▶ページ 159] および TMJワーク スペースに関する概要 [▶ページ 75]。
- ☑ 既に動的または静的顎関係を選択しています。
- 1. オブジェクトブラウザで、ボリューム-部位をクリックします。
 - ► SICAT Function プロパティに、セグメンテーション限度の表示のオプションが表示されます:

プロパティ
セグメンテーション限度の表示
親び笑起中心の動作 オフ オン

2. セグメンテーション限度の表示のオプションで、スライダーをオンの位置に移動させます。
 ▶ 2Dビューでは、セグメントした部分の境界線を黄色の輪郭で表示します。

SICAT Function 咬合でセグメントした位置を色違いで識別表示します。

- SICAT Functionでは、セグメントした位置にあって運動中の下顎頭を青色で識別表示します。
- 3D X線撮影画像の元来のセグメンテーションはSICAT Functionをチェックラインで表示します。
 SICAT Function チェックラインを黄色で識別表示します。

31.5 下顎頭方向の運動を表示する

両方の下顎頭が3DX線撮影画像で検出された場合は、下顎頭方向の動きを使用して、窩に関連して動く下顎頭を表示できます。下顎を中心とする顎運動を起動すると、のレイヤービューで顎運動が開始して終了するまでの間、下顎にある点のすべてをTMJワークスペースに表示させることができます。下顎を中心とする顎運動を停止すると、のレイヤービューで顎運動が開始して終了するまでの間、窩にある点のすべてをTMJワークスペースに表示させることができます。

下顎を中心とする顎運動を表示するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ TMJワークスペースはすでに開いています。TMJワークスペースに関する一般的な情報は、
 TMJワークスペースの各種機能 [▶ページ 159]および TMJワークスペースに関する概要 [▶ペ ージ 75]の節をご覧ください。
- ☑ 既に動的または静的顎関係を選択しています。
- 1. オブジェクトブラウザで、ボリューム-部位をクリックします。
 - ▶ SICAT Functionはプロパティで顆状突起中心の動作のオプションを表示します。

プロパティ				
セグメンテーション限度の表示				
オフ 🧰 オン				
顆状突起中心の動作				
オフ 🧰 オン				

- 2. 顆状突起中心の動作のオプションで、スライダーをオンの位置に移動させます。
 - ▶ **3D**ビューで、下顎を中心とする顎運動を表示します。



SICAT Functionは患者固有の咬合器値を決定する際、サポートします。咬合器上の値を送信する ことにより、個別の義歯修復を構成し、完了することができます。現時点では咬合平面を基準平 面として使用する咬合器のパラメータの決定は最適化されています。

咬合平面を基準平面として使用する咬合器の例はCEREC-Software (Dentsply Sirona)の仮想咬合 器です。CEREC咬合器を個々の値を使ってプログラムする手順はCERECの取扱説明書をご覧くだ さい。

必要な顎運動データ

最大の咬合器値を顎運動の記録を基に決定することができます。値を決定するには特定の種類の 顎運動データが必要です。

咬合器値	必要な顎運動データ
左右の顎関節の矢状顆路角	突起
左右のベネット角および左右の即時切替	左右のラテロトルージョン
蝶番軸	実際の開口運動または閉口運動

CEREC咬合器用の値

SICAT Functionを使用してCEREC咬合器用の以下の値を決定することができます。

CEREC咬合器のパラメータ	説明	
辺	辺とは下顎中切歯間の左または右の下顎頭か ら切歯点までの距離です。SICAT Functionは ボンウィル三角の辺の長さを直接示します。	
基準	基準は左右の下顎頭間の距離です(下顎頭間 距離)。SICAT Functionはボンウィル三角の 基準の長さを直接示します。	
バルクウィル角	バルクウィル角は咬合平面とボンウィル三角 の間の角です。SICAT Functionはボンウィル 三角でバルクウィル角を直接示します。	
左右の矢状顆路角	矢状顆路角は左の突起部または右の下顎頭と 咬合平面の間の角です。この角をTMJワーク スペースの矢状ビューで突起部を使って測定 することができます。3DX線撮影画像が上顎 骨の咬合平面に対して水平方向を向いている ことを確認してください。この点についてボ リュームの配置についての安全指示に必ず留 意してください。左右の顎関節の突起部と水 平面の間の角を測定してください。	
左右のベネット角	ベネット角は突起部運動とラテロトルージョ ンの間の角です。この角をTMJワークスペー スの軸方向ビューでラテロトルージョンを使 って右側および左側で測定することができま す。3DX線撮影データが上顎骨の咬合平面に 対して水平方向を向いていることを確認して ください。この点についてボリュームの配置 についての安全指示に必ず留意してくださ い。ラテロトルージョン突起と矢状平面の間 の角を測定してください。	

左右の即時切替

3DX線撮影画像における視認可能な下顎頭

咬合器値は主に顎運動の記録をもとに決定することができます。下顎頭間距離 (CEREC咬合器でのボンウィル三角の「基準」長さ) を顎運動データのみで決定することはできません。

3DX線撮影画像で顎関節が見えない場合、ボンウィル三角の「基準」辺長さを蝶番軸を使って決 定することができます。蝶番軸は実際の開口または閉口運動から決定することができます。その 際に重要なのは下顎骨は純粋な回転運動を行い、前進はしないことです。 両方の下顎頭が3D X線撮影画像に記録されている場合は、3Dレントゲン写真を使用して下顎頭間 距離を決定できます。どの咬合器値にどの顎運動データが必要かは以下の表を参照してください。

	下顎頭が3DX線撮影画像で視 認可能	下顎頭が3DX線撮影画像で視 認不可能
原因	 大きなField of View (FOV)付の3DX線撮影用の X線装置を持っています。 	小さなField of View (FOV)付 の3DX線撮影用のX線装置を 持っています。 石膏模型の3DX線撮影画像を 作成しました。
結果	3DX線撮影画像では下顎頭に 左右のトレースポイントを配 置することができます。	3DX線撮影画像では下顎頭に 左右のトレースポイントを配 置することができません。
必要な手順	TMJワークスペースのレイヤ ービューに左右のトレースポ イントを配置してください。 その際、3DX線撮影画像内で 下顎頭の位置を参照してくだ さい。	蝶番軸の算出には実際の開口 運動または閉口運動の画像が 必要です。患者が顎を数ミリ メートル開けるか閉めるかす ること、およびお客様が下顎 骨が前進しないように下顎頭 をLauritzenグリップまたは Dawsonグリップで操作する ことにより、実際の開口運動 または閉口運動の特徴が決ま ります。 SICAT Functionは、両方のト レースポイントが顎関節の蝶 番軸上に来るように左右のト レースポイントを配置しま す。

SICAT FUNCTIONのボンウィル三角

以下の咬合器値を決定する際、SICAT Function内でボンウィル三角をサポートしてください。

- 左右の辺 [mm]
- 基準 [mm]
- バルクウィル角[°]

ボンウィル三角の3つの頂点が正確に配置されている必要があります。

- 左トレースポイント
- 右トレースポイント
- 切歯点

TMJワークスペース内で3Dビューで解剖学的に正確な点をダブルクリックすることで、切歯点を 配置することができます。下顎頭が3DX線撮影画像内で見えるかどうかによって左右両方のトレ ースポイントが異なる配置になるかどうかが決まります。

咬合器値を読み取る手順は、*下顎頭が視認可能な時に咬合器値を読み込む* [>ページ169]または *下顎頭が視認不可能な時に咬合器値を読み込む* [>ページ171]の節をご覧ください。

32.1 下顎頭が視認可能な時に咬合器値を読み込む

下顎頭が視認可能な場合のボンウィル三角の設定

以下の手順にはTMJワークスペース内でレイヤービューを使用してください。

- 1. 左右いずれかのトレースポイントをクリックし、マウスの左ボタンを押したまま各下顎頭に トレースポイントを配置します。
- 解剖学的に正確な位置をダブルクリックして下顎の切歯間に切歯点を配置します。下顎骨の 切歯間に切歯点が見えない場合は開口運動を選択し、顎を少しだけ開いてください。顎運動 データ内で特定の位置を選択する方法に関する情報は*顎運動と連携する* [▶ページ153]を参 照してください。



スクリーンショットは3D X線撮影画像を大きな Field of View (FOV)で示します。その中ではボン ウィル三角が患者の解剖学的構造と整合していま す。下顎頭が視認可能です。左右のトレースポイ ントは視認可能な下顎頭の中央に配置されていま す。SICAT Functionの切歯点は、中央下顎切歯 の間にあります。



SICAT Functionはボンウィル三角の辺の長さを mmで表示します。咬合器に対して直接値を記録 することができます。SICAT機能が同様にバルク ウィル角を表示します。バルクウィル角は閉じた 顎と咬合平面が水平に向いているときにだけ適用 されます。

下顎頭が可視の場合の咬合器値の決定

咬合器値を決定するには、次のように行います。

- ☑ 上顎骨の咬合平面が水平に向き、顎が正中矢状面に対して可能な限り対称になるように3DX 線撮影画像の位置を調整済みです。正確なデータを収集し、咬合器に転送するには、正確な 調整が必要です。これに関する情報はボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する
 ▶ページ108]を参照してください。
- ☑ 顎運動データはすでにインポートされています。これに関する情報は*顎運動データ [▶ページ* 120]を参照してください。
- ☑ TMJワークスペースはすでに開いています。これに関する情報はTMJワークスペースに関する概要 [▶ページ 75]を参照してください。

- ☑ アクティブな顎関係:リストで既に動的顎関係が選択されています。これに関する情報は*顎 運動と連携する* [▶ページ153]を参照してください。
- オブジェクトブラウザでオブジェクト顎運動データを選択します。
 プロパティエリアにSICAT Functionはボンウィル三角を表示します。
- セグメンテーションされた下顎上で解剖学的に正確な位置または光学印象をダブルクリック して3Dビューで下顎中切歯間に切歯点をセットします。下顎から切歯までの切歯点が隠れて いる場合、下顎から切歯までが表示されるまで、顎の運動を再開して開きます。ダブルクリ ックで切歯点を配置し、顎を再び閉じてください。
- 3. トレースポイントを冠状、矢状、および事項方向に動かして下顎頭の中央に左右のトレース ポイントをセットしてください。
- 4. ベース値、バルクウィル角、辺の長さの値を書き留めます。使用されている咬合によって は、辺の値を1つだけ入力できることに注意してください。
- 5. 選択した突起部運動の際は顎が閉じている時点を選択してください。顎運動データ内で特定 の位置を選択する方法に関する情報は*顎運動と連携する [>ページ 153]*を参照してくださ い。
- 6. 歯がしっかり閉じていることを確認してください。
- 7. 角度測定を追加する(A)ツールを使って矢状ビューで左右の顎関節での矢状顆路角を測定してください。値を記録しておきます。
- 8. 左へのラテロトルージョンを選択してください。角度測定を追加する(A)ツールを使って軸 方向ビューで右の顎関節のベネット角を測定してください。値を記録しておきます。
- 9. もしある場合は、右の顎関節内での即時切替を測定してください。値を記録しておきます。
- 10. 右へのラテロトルージョンを選択してください。角度測定を追加する(A)ツールを使って軸 方向ビューで左の顎関節のベネット角を測定してください。値を記録しておきます。
- 11. もしある場合は、左の顎関節内での即時切替を測定してください。値を記録しておきます。

32.2 下顎頭が視認不可能な時に咬合器値を読み込む

下顎頭が視認不可能な場合のボンウィル三角の設定 以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 1. アクティブな顎関係:リストから実際の開口または閉口運動を選択します。
- 2. 軸を計算するのボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Functionは3Dビューで算出された軸を破線で示します。SICAT Functionは、TMJワー クスペースで両方のトレースポイントが算出された蝶番軸上に来るように、左のトレースポ イントと右のトレースポイントを自動的に配置します。
- ▶ オブジェクトブラウザで顎運動データオブジェクトを選択すると、SICAT Functionが算出された軸をプロパティエリアに表示します。



スクリーンショットは例として下顎頭が見えない石膏模型のスキャンを示しています。蝶番軸は実際の開口運動から決定されました。破線は算出された軸を意味しています。SICAT機能は自動的に左右のトレースポイントを両方が算出された軸上に来るように配置します。SICAT Functionの切歯点は、中央下顎切歯の間にあります。



SICAT Functionはボンウィル三角の辺の 長さをmmで表示します。咬合器に対して 直接値を記録することができます。 SICAT機能が同様にバルクウィル角を表 示します。バルクウィル角は閉じた顎と 咬合平面が水平に向いているときにだけ 適用されます。

下顎頭が不可視の場合の咬合器値の決定

咬合器値を決定するには、次のように行います。

 ☑ 上顎骨の咬合平面が水平に向き、顎が正中矢状面に対して可能な限り対称になるように3DX 線撮影画像の位置を調整済みです。正確なデータを収集し、咬合器に転送するには、正確な 調整が必要です。これに関する情報はボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する
 [▶ページ108]を参照してください。

- ☑ 顎運動データはすでにインポートされています。これに関する情報は*顎運動データ [▶ページ* 120]を参照してください。
- ☑ TMJワークスペースはすでに開いています。これに関する情報はTMJワークスペースに関す る概要 [▶ページ 75]を参照してください。
- ☑ アクティブな顎関係:リストで既に動的顎関係が選択されています。これに関する情報は 領 運動と連携する [▶ページ 153]を参照してください。
- 1. オブジェクトブラウザでオブジェクト**顎運動データ**を選択します。

▶ **プロパティ**エリアにSICAT Functionはボンウィル三角を表示します。

- セグメンテーションされた下顎上で解剖学的に正確な位置または光学印象をダブルクリック して3Dビューで下顎中切歯間に切歯点をセットします。下顎から切歯までの切歯点が隠れて いる場合、下顎から切歯までが表示されるまで、顎の運動を再開して開きます。ダブルクリ ックで切歯点を配置し、顎を再び閉じてください。
- 3. アクティブな顎関係:リストから実際の開口または閉口運動を選択します。
- 4. **プロパティ**エリアで、**軸を計算する**のボタンをクリックします。必要に応じて基準の長さを 100mmの平均値にセットします。
- 5. オブジェクトブラウザでオブジェクト**顎運動データ**を選択します。
 - ► SICAT Functionは、プロパティエリアに基準、辺、およびバルクウィル角の値を表示します。
- 6. ベース値、バルクウィル角、辺の長さの値を書き留めます。使用されている咬合によって は、辺の値を1つだけ入力できることに注意してください。
- 突起部運動を選択します。突起部運動の際は顎が閉じている時点を選択してください。顎運 動データ内で特定の位置を選択する方法に関する情報は*顎運動と連携する* [>ページ153]を 参照してください。
- 8. 歯がしっかり閉じていることを確認してください。
- 9. 角度測定を追加する(A)ツールを使って矢状ビューで左右の顎関節での矢状顆路角を測定してください。値を記録しておきます。
- 10. 左へのラテロトルージョンを選択してください。角度測定を追加する(A)ツールを使って軸 方向ビューで右の顎関節のベネット角を測定してください。値を記録しておきます。
- 11. もしある場合は、右の顎関節内での即時切替を測定してください。値を記録しておきます。
- 12. 右へのラテロトルージョンを選択してください。角度測定を追加する(A)ツールを使って軸 方向ビューで左の顎関節のベネット角を測定してください。値を記録しておきます。
- 13. もしある場合は、左の顎関節内での即時切替を測定してください。値を記録しておきます。

33 距離/角度測定

SICAT Functionには2種類の測定タイプがあります:



■ 距離測定



■ 角度測定

測定を追加するツールは、**ワークフローのツールバー**の**診断する**に記載されています。すべての 2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Functionはそ の測定を**測定**のグループ**オブジェクトブラウザ**にも追加します。



測定に使用できる操作:

- 距離測定を追加する [>ページ174]
- 角度測定を追加する [>ページ175]
- 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する [>ページ177]
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報はオブジェクトブラウザを使用 したオブジェクトの管理 [トページ 66]をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [>ページ 68]の節をご覧ください。

33.1 距離測定を追加する



- **1** 始点
- **2** 測定値
- 3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの診断するは、展開させておきます。

- ワークフローステップ 診断する で 距離測定を追加する(D) アイコンをクリックします。
 ▶ SICAT Function 新しい距離測定をオブジェクトブラウザに追加します。
- 2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
- 3. 距離測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Function は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Function は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
 - ▶ SICAT Function 距離線の中央および オブジェクトブラウザに始点とマウスポインタ間の 現在の距離を表示します。
- 4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Function は小さい十字で終点を表します。

測定の追加は、ESCを押すことによっていつでも中断することができます。

33.2 角度測定を追加する



- 1 始点
 2 測定値
- 3 頂点
- **4** 終点



- ワークフローステップ診断するで角度測定を追加する(A)アイコンをクリックします。
 ► SICAT Functionは新しい角度測定をオブジェクトブラウザに追加します。
- マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 ▼ウスポインタは十字になります。
- 3. 角度測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Functionは小さい十字で始点を表します。
 - ► SICAT Functionは、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
- 4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Functionは小さい十字で頂点を表します。
 - ► SICAT Functionは、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。

- ▶ SICAT Functionは角度測定の2本の辺の間およびオブジェクトブラウザに現在の角度を表示します。
- 5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Functionは小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

33.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Function はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 66] とオブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68]を参照してください。
- 1. マウスポインタを測定の線上に動かします。

▶ マウスポインタは十字になります。

- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
 - ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Function は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Function はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 66]とオブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68]を参照してください。
- 1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。

▶ マウスポインタは十字になります。

- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
 - ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Function は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Function はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 66]とオブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68]を参照してください。

- 1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
 - ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Function は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Function は現在の測定値の位置を保持します。



1回の測定の値を移動すると、SICAT Functionはその値を1つの絶対位置に 設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置 に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

34 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的 で用意されている、SIDEXIS 4の機能を利用してください。このエクスポートに関する内容は、 SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

35 注文プロセス

希望の製品を注文するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- SICAT Functionで、治療位置を設定し、スプリントのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。これに関する情報は治療位置の設定 [>ページ 181]とスプリントをショッピングカートに入れる [>ページ 183]を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報はカートをチェックして、注文プロセスを完了する [>ページ 188]を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報はインターネット接続を 使用した注文の終了 [>ページ 189]もしくはインターネット接続を使用しない注文の終了 [>ページ 193]を参照してください。



同一の3DX線撮影画像に関係する注文であれば、複数の注文内容をカート に追加できます。
35.1 治療位置の設定

治療位置を設定するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 顎運動データはすでにインポートされています。これに関する情報は*顎運動データをインポ* ートして記録する [▶ページ 122]を参照してください。
- ☑ 光学印象はすでにインポートされています。これに関する情報は*光学印象をインポートする (▶ページ136)*を参照してください。
- 1. 治療位置をベースにして静的な顎関係に設定する場合は、**アクティブな顎関係**:のリストか ら静的な顎関係を選択します。これに関する情報は*顎運動と連携する* [▶ページ 153]を参照 してください。
- 治療位置をベースにして顎運動に設定する場合は、アクティブな顎関係:のリストから、顎 運動を1件選択し、お好みの位置へ移動します。これに関する情報は*顎運動と連携する [▶ペ ージ 153]*を参照してください。



- 3. 治療位置のボタンをクリックします。
- ▶ 顎運動に基づく治療位置を選択したら、SICAT Functionでは、その該当する位置にブックマ ークがセットされます。
- ▶ 治療位置のボタンが、治療位置をキャンセルするのボタンに切り替わります。
- ▶ SICAT Functionは選択した治療位置をスプリントの注文のために保存します。

治療位置をキャンセルする

指定した治療位置をキャンセルするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 顎の静的な相対関係か、または、顎運動のブックマークのうち、治療位置の指定でベースとしたものを選択しておきます。
- 1. 治療位置をキャンセルするのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Functionは通知ウィンドウを開き、以下の内容をお知らせします。 治療位置を本 当に取り消しますか?
- 2. 治療位置を削除する場合は、継続するをクリックしてください。

治療位置に上書きする

指定した治療位置に上書きするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。 図 治療位置はすでに設定されています。

1. 顎の静的な相対関係か、または、顎運動の位置のうち、指定した治療位置に該当しないもの を選択します。



- 2. 治療位置のボタンをクリックします。
 - ► SICAT Functionは通知ウィンドウを開き、以下の内容をお知らせします。治療位置はすでに設定されました。続行する場合は、位置が上書きされます。

3. 治療位置に上書きする場合は、継続するをクリックしてください。

スプリントをショッピングカートに入れる [>ページ 183]で続行してください。

35.2 スプリントをショッピングカートに入れる

▲ 注意	注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性がありま す。 注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認して ください。
▲ 注意	注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。 1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。 2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

注文プロセスに関する一般的な情報は、注文プロセス [> ページ 180]の節をご覧ください。

SICAT Functionで最初の注文プロセスのスプリントをショッピングカートに入れます。スプリントをショッピングカートに入れるには、特定の条件を満たす必要があります。すべての条件をまだ満たしてない場合は、SICAT Functionを参照してください。

充足されていない前提条件があるとき

☑ ワークフロー・ステップの注文するは、展開させておきます。これに関する情報はワークフ ローのツールバー [▶ページ 62]を参照してください。



- 1. スプリントを注文しますのアイコンをクリックします。
 - ▶ **注文が完全ではありません** のウィンドウが開きます。

■ 注文が完全ではありません				×
注文が完全ではありません	ν			
理由: 必要な情報が不足しています。下記表示	の不足情報を追加してください。			
光学印象 🚫	光学印象をインポートします… 光学印象なしで注文する(石膏モデルが必要)	(推奨)		
顎運動データ 🚫	マンポートして登録します			
治療位置 😣	- 顎間関係リストから治療位置を選択してください。			
		(*	閉じる



光学印象をまだインポートしていない場合は、インポートして記録しますボタンをクリックし、3D X線撮影図のための適切な光学印象をインポートします。これに関する情報は光学印象 /> ページ 134/を参照してください。



- 顎運動データをまだインポートしていない場合は、インポートして記録しますボタンをクリックし、顎運動データをインポートします。これに関する情報は*顎運動データをインポートして記録する* [>ページ 122]を参照してください。
- 治療位置をまだ設定していない場合は、注文が完全ではありませんウインドウを閉じ、治療 位置を設定します。これに関する情報は治療位置の設定 [▶ページ 181]を参照してください。



ることができます。その後、ステップスプリントを注文するは情報この注 文には光学印象は含まれていません。該当する石膏モデルをSICATまでお送 りください。のを示します。

前提条件がすべて充足されているとき

- ☑ 光学印象はすでにインポートされています。
- ☑ 顎運動データはすでにインポートされています。
- ☑ 治療位置はすでに設定されています。
- ✓ ワークフロー・ステップの注文するは、展開させておきます。これに関する情報はワークフ
 ローのツールバー [▶ページ 62]を参照してください。



- スプリントを注文しますのアイコンをクリックします。
- ▶ **スプリントを注文する**のウィンドウが開きます。

「スプリントを注文する」ウインドウの注文を確認してください

☑ スプリントを注文するウインドウはすでに開いています:



- 1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者**エリアと**注文への詳細**エリアを確認してください。
- 2. 3Dビューで治療位置が正しいかどうか確認してください。
- 3. 希望する場合、追加情報欄にSICATの追加情報を入力します。



- 4. ショッピングカートにのボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Function スプリントに適用する治療計画のデータで、お好みのものがSICAT Suiteの カートに入ります。
- ▶ スプリントを注文するウイドウが閉じます。
- ▶ SICAT Function SICAT Suiteのカートが開きます。





*カートをチェックして、注文プロセスを完了する [>ページ 188]*で続行してください。

35.3 カートを開く

☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。

☑ **出力**のフェーズで、カートの表示を開いておきます。この操作に関する内容は、SIDEXIS 4の 取扱説明書をご覧ください。



 ショッピングカートをまだ開いていない場合、ナビゲーションバーのカートのボタンを クリックします。

▶ **カート**のウィンドウが開きます。

上記に代えて、**出力**のフェーズで、**カート**のボタンをクリックしても結構です。



以下の操作で、処理を続けてください。

■ カートをチェックして、注文プロセスを完了する [>ページ188]

35.4 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

 ☑ カートのウィンドウはすでに開いています。これに関する情報はカートを開く [▶ページ 187]を参照してください。

Sidecis 4		– ø ×
Creen Patricia # 620 51956 5# 620 51956 5# 620 51956 5# 620 51956 5# 620 51956 5# 6200	🕴 影音 🔰 編彩 📄 👘 🖊 Plan & Treat) 🐟 出力	🔜 🖷 🗱 🏹 🧾
▶ 13.02.2014 07:52 服影日時		🧱 💉 💉 💉 👘
カート		
	🕎 注文するアイテムへ	1
	Green Patricia 02 05 1956	1
- L.		
ΥΥΥ 		
¢		
	注入以応知識者プージを描われたする 有効化の際、SICATは通信に置名化データのみを使用します。	
	國名, 聖者, *01.01.1556, ID: 54684027 Green Patricia 02.05.1956	
	✓ 注文0.半価	2
Strong		DSHub Status Sidexis 4

1 注文するアイテムへのリスト

2 注文の準備のボタン

- 1. カートウィンドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。
- 2. 注文のため患者データを匿名化するのチェックボックスを有効または無効にします。
- 3. 注文の準備のボタンをクリックします。
- ► SICAT Suiteは注文状況を準備中にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICATサーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。 以下の操作を続行します:

- インターネット接続を使用した注文の終了 [>ページ189]
- インターネット接続を使用しない注文の終了 [>ページ193]

35.5 インターネット接続を使用した注文の終了



☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ チェックボックス注文のためにインターネットへのアクセスを許可するは有効になっています。これに関する情報は一般設定の使用 [▶ページ 198]を参照してください。

☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。

- SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、 SICATのポータルページへログインします。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されます。
- 2. SICATポータルでの注文手順 [>ページ 190]の指示に従ってください。
- ▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。
- ▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサー バーに転送します。
- ▶ ショッピングカートの注文状況が**アップロードする**に変わります。

また、**トリート**項目が強調されるよう、SIDEXIS 4のタイムラインでスタディのアイコンが変わ ります。

> SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けま す。複数のコンピューターで現在のSIDEXISサーバーを利用している場合 は、他のコンピューターでアップロードされる注文にもこれは適応されま す。注文内容のアップロードを開始したコンピュータであれば、そのコン ピュータで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの 各操作を行うことができます。

アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはア
 ップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的
 にアップロードを続行します。

35.6 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、 有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

- 1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、 SICATのポータルページへログインします。
- 2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
- 3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了する と、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
- 4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
- 5. 希望の配達方法を選択してください。
- 6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。



患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者およ び全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。そ の後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることが できます。

35.7 SICAT WEBCONNECTOR

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要と します。これに関する情報は*システム要件 [▶ ページ 10]*を参照してくださ い。

Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的な Webブラウザに設定しなければならないときがあります。

SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suite で、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。 SICAT Function 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectoを 一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉 じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われないことがありますが、そ のときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く

タスクバーの通知ウィンドウで、SICAT Suite WebConnectorアイコンをクリックします。

▶ SICAT Suite WebConnector のウィンドウが開きます。

A SICAT Suite WebConnector	– 🗆 X
SICAT Suite WebConnector	
注文	
注文日: 2016/02/03 16:56:07 注文ステータス: 中断されている	継続する 中止する
残り時間: 進捗状況なし	
	2
	オバアを映注する オバアを使止する つ
	3.((Files)) 3.((File)) 3
設定 ✓ アップロードは再起動後に自動的に続行されます	4
1 リスト 注文	3 ボタン すべて停止する
<mark>2</mark> ボタン すべて再開する	4 チェックボックス 再起動後にアップロー ドを自動で再開する

注文のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnector でのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この 操作の影響を受けません。

☑ SICAT Suite WebConnectorウインドウはすでに開いています:

- 1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。
- 2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

☑ SICAT Suite WebConnectorウインドウはすでに開いています:

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。
- ▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアッ プロードが自動で再開することは、なくなります。

35.8 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、 SICAT Suiteが**SICAT Suite - SICAT サーバーに接続できない**ウィンドウを開きます。ウィンドウ は問題に対する以下の原因を表示します。

- インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。
- SICATポータルにアクセスできません。
- 「SICATWebConnector」サービスがインストールされていません。
- 「SICATWebConnector」サービスが起動していません。
- 未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

ー般タブの設定で、チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**を無 効にした場合は、他のコンピューターからオーダーをアップロードするウィンドウが直接開きま す。

トラブルシューティングの代わりとして、またはインターネットへのアクセスを無効にしている 場合は、インターネットに接続されている別のコンピュータのWebブラウザから注文をアップロ ードできます。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピ ングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには 注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICAT ポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この 送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

☑ ウインドウに表示されるメッセージ: SICAT サーバーへの接続エラー



1 他のコンピューターからアップロードするのボタン

- 1. 他のコンピューターからアップロードするのボタンをクリックします。
 - ▶ 他のコンピューターからオーダーをアップロードするのウィンドウが開きます。



▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

- 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、OKをクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。
- 4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。
 - ► SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダに エクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成しま す。
- 5. エクスポートされたデータに変更しますのボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポートしたデータのある ディレクトリが表示されます:

📙 🛃 📕 🖛 Order				- 🗆	×
ファイル ホーム 共有	表示				~ 🕐
← → * ↑ → P	PC > Daten (D:) > Order	ٽ ~	Orderの検索		Q
🖈 クイック アクセス 🔷	~	更新日時	種類	サイズ	
ineDrive	SICATSuiteOrder_20160203050158	2016/02/03 17:01	ファイル フォルダー		
PC					
🖊 ダウンロード					
🔜 デスクトップ					
🔮 ドキュメント					
📰 ピクチャ					
📑 ८न्त्र					
🎝 ミュージック					
🏪 Win10 (C:)					
🔜 Daten (D:)					
💣 ネットワーク					
● ▲ ホームグループ > 1 個の項目					

- 6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピュータ ーに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。
- 7. 他のコンピューターからオーダーをアップロードするウィンドウの完了するをクリックします。
 - ► SICAT Suiteは他のコンピューターからオーダーをアップロードするウィンドウを閉じます。
 - ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。
- 8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットペ ージwww.sicat.comを開きます。
- 9. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。

- 10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、 SICATのポータルページへログインします。
- 11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。
- 12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名 が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。

▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。

- 13. *SICATポータルでの注文手順 [>ページ 190]*の指示に従ってください。
- 14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。
- 15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前 アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名がSICATSuiteExportで 始まるZipアーカイブです。
- ▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由 でSICATサーバーに転送します。



SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

36 設定



設定ウインドウで一般設定を変更または閲覧することができます。**設定**のグループをクリックす ると、メニューで左側に以下のボタンが表示されます。

- 一般 これに関する情報は一般設定の使用 [>ページ 198]を参照してください。
- ライセンス これに関する情報は ライセンス [>ページ 48]を参照してください。
- プラクティス クリニックのロゴおよび情報テキストを表示または変更します (例えば、プリントアウトして使用するため)。これに関する情報は*歯科医院情報の使用* [>ページ 202]を参照してください。
- Hub Hub接続設定はSIDEXIS 4に転送され、接続状態が表示されます。これに関する情報は Hub接続状態を表示する [>ページ 203]を参照してください。
- 可視化 ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は *現化設定の変更* [>ページ 204]を参照してください。
- **SICAT Function** SICAT Functionで、アプリケーション固有の設定内容を変更します。これ に関する情報は*SICAT Function設定の変更 [*> ページ 206]を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Functionが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに 設定を保存します。

> SICAT Suiteの設定は現在のワークステーションのアクティブなユーザーに 適用されます。SICAT Suiteには設定で変更した事項がすぐに反映されま す。SICAT Suiteでは、各種設定で別の種類へ切り替えても、変更後の設定 内容を継続的に保存して、同様に維持します。

36.1 一般設定の使用



一般的な設定内容を開くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、設定のアイコンをクリックします。
 - ▶ 設定のウィンドウが開きます。
- 2. SICAT Suiteのグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteのグループが開きます。
- 3. 一般のボタンをクリックします。

▶ 一般のウィンドウが開きます。

			Plan & Treat) Co (117)	🛛 💆 💥 🗱 🖉 🖉	1
 一般的な設定 ● 	SICAT Suite	一般		פיני דרע - דר לי-ד	T
出力 出力 Connectivity デ	. 局所設定 『≊	日本語			2
		® FDL P ADA			3
ハブ 可視化	■名化 ●	□ 影素情報を固名で表示する			Λ
SICAT Function	モニターキャリプレーション オペレーティングシステムのアップ デート	「SMOTE J7入1/G-ソを表示する」 SCAT7プリアーションを総動する新に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが相互 ALと力性構成してください、インスーールしている場合は、SCATアプリケーションが正常に動作っ 現状明書を完てされ、	ISICATアプリケーションを使用してからアップアートやセキュリティアップアートをインストー することは確認してくたとい、確認に必要なステップについてはSICATアプリテーションの取		4
	フォルダ				5
	;;2)(1)(2)((1)(1)(2)(1)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)	D∖Data Export			C
	/ - / > /ンターネット	☑ 注文のためにインターネットへのアクセスを許可する			6
				OSHob Status Siclexis 4	
1 40			A		
	カタフ		4 ツール エリア		
2 局所言	设定 エリア		5 ディレクトリエリア		
3 患者	Eリア		6 注文エリア		

SICAT Functionでは、SIDEXISの各種設定のうち、以下に挙げる内容が適用されますが、これら は、このページで確認できます。

- 局所設定エリアでは、言語リストからユーザーインターフェースの言語を閲覧することができます。
- 局所設定エリアでは、歯式で現在の歯型図を閲覧できます。
- 患者エリアでは、患者情報を匿名で表示するのチェックボックスのステータスを閲覧できます。このチェックボックスにチェックマークがあれば、SICAT Functionでは、SIDEXISで匿名化した患者データを引き継ぎます。

変更が可能な設定内容は、以下のとおりです。

- ディレクトリエリアでは、テンポラリエクスポートディレクトリ欄にSICAT Suiteが注文デ ータを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスでき なくてはなりません。
- 注文エリアでは、注文のためにインターネットへのアクセスを許可するのチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。このボックスがチェックされていると、SICAT Suiteはインターネットに接続して注文します。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーション することもできます。

 ツール、モニターキャリブレーションでSMPTE テストパターンを表示するのボタンをク リックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報はSMPTEテスト 画像によるモニターのキャリブレーションを参照してください。



SICAT Functionがサポートしていない言語を、SIDEXISで選択すると、 SICAT Functionでは、ユーザーインターフェースのテキストを英語で表示 します。

対応している歯型図はFDIとADAです。

36.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーシ

ョン

▲
 ▶
 ▶
 ▶
 ▶
 ▶
 ▶
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■</li

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定 します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能(直線性)
- ひずみ(エイリアシング)

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒(輝度0%)~白(輝度100%)のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0%~5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95% ~ 100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

☑ SMPTEテスト画像はすでに開いています。

 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違い が見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。



空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示 されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で 区別できる必要があります。

- 幅が広い~狭い(6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル)
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるか どうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- ESCボタンを押します。
- ▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

- a × I

36.3 歯科医院情報の使用

SIDEXIS 4と結合しているSICAT SuiteのバージョンにはPraxislogoとSIDEXIS 4の情報テキストが 適用されています。そのため、SICAT Suiteの設定でこれらの設定の値しか閲覧できません。これ らの設定内容は、SIDEXIS 4からご希望の変更を加えるようにしてください。

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。

- 1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、設定のアイコンをクリックします。
 - ▶ 設定のウィンドウが開きます。
- 2. SICAT Suiteのグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteのグループが開きます。
- 3. プラクティスのボタンをクリックします。
 - ▶ **プラクティス** のウィンドウが開きます。

		- xx
		— <u> </u>
—般的な影響		
患者設定 🏻	SICAI Suite - 77771A	A
撮影 マ		ワークステーション
出力 🗢	nt interest	
Connectivi y 🗢		
SICAT Suit		
一般		ງ
プラリティス <mark>、</mark>		
ライセンス		
7.0	信報 Dr. Demo	
SICAT Implant		
SICAT Function		
SICAT Air		
		る 1月 ~
Dertsply		

- 1 プラクティスのタブ
- **2** ロゴエリア
- 3 情報エリア

以下の設定を閲覧することができます。

- **ロゴ**エリアでは、施設ロゴを閲覧することができます。
- **情報**エリアでは、施設を識別するテキスト(名前、住所など)を閲覧することができます。

36.4 HUB接続状態を表示する

SICAT Suiteでは、Hubの接続状態を見ることができます。Hub使用の設定はSICAT Suiteに SIDEXIS 4から転送されます。

- ☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 48]*を参照してください。
- 1. SIDEXIS 4タイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
 - ▶ 設定のウィンドウが開きます。
- 2. SICAT Suiteのグループをクリックします。

▶ SICAT Suiteのグループが開きます。

- 3. Hubのボタンをクリックします。
 - ▶ Hubのウィンドウが開きます。
- ▶ 右側に接続状況が表示されます。

36.5 可視化設定の変更



可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

- SIDEXIS 4のタイトルバーで、設定のアイコンをクリックします。
 ▶ 設定のウィンドウが開きます。
- SICAT Suiteのグループをクリックします。
 ► SICAT Suiteのグループが開きます。
- 3. 可視化のボタンをクリックします。

▶ **可視化** のウィンドウが開きます。

Siclexis 4			– 🗆 ×	
Brown Dana 🗱 1977/04/06 64059164		Plan & Treat 合 出力	🧧 💥 🏟 🛋 😣	
 一般的な設定 単者設定 単 撮影 	SICAT Suite - 可視化		ワークステーション	
出力 ▼ 接続 ▼	画質			2
SICAT Suite へ	」レイヤーの画質が向上します。 高性報コンビュータをお使いの場合にのみ、この設定を有効にしてください。			
ブラクティス ライセンス	他のビューの更新			3
ハブ 可視化・ SKAT leaded	お使いのコンピュータに双方向性問題が発生した場合は、遅延更新を有効にしてください。			
SICAT Function SICAT Air				4
1	スライドブレゼンデーション用などの場合は大い線を使用してください。			
±	ビューの方向			5
	矢状面と軸平面上へのどこーを選択してください。			
Dentsoly Strong			Sidevis 4	
_		_		
1 タブ	可視化	4 エリア 線の太さ		
2	#			
∠ エリ.		<mark>5</mark> エリア 目線		
3 エリ ⁻	ア他のビューの更新			
設定:				

- レイヤーの画質を向上させます。- ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- 他のビューの更新 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用している ビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに 使用します。
- 目線 軸方向レイヤービューと矢状方向レイヤービューの目線を切り替えます。

36.6 SICAT FUNCTION設定の変更

SICAT Functionの各種設定では、SICAT Functionの**TMJ**ワークスペースにおけるパニングやズー ミングの同期を定義します。

SICAT Function設定を変更するには、次の手順で行います。

- SIDEXIS 4のタイトルバーで、設定のアイコンをクリックします。
 ▶ 設定のウィンドウが開きます。
- 2. SICAT Suiteのグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteのグループが開きます。
- 3. SICAT Functionのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Function のウィンドウが開きます。

→ → ↓ BEDE > BEDE > BD > State > Direction 1000-07X<-X State > <
■ 682 ■ 1 <th1< th=""> 1 <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<>
Connectinity [™] TM/9-02A-308E2E2EFRUst. SCAT Suite [↑] /b/0E86 x7 [■] x/
12774. NEX
1.プ (現在) (現在) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日
SOCI headnes
SCAT AV
Notar Notar Notar

1 タブ SICAT Function

設定:

- パンの同期
- ズームの同期

SICAT FunctionのTMJワークスペースでは、下顎頭を左側と右側とで同期させながら、ビューを パニングしたりズーミングしたりができますが、この同期のオンとオフは、上記の設定内容で切 り替えることができます。

エリア TMJワークスペースのための設定を

2 ここでセットしてください。

37 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
- 連絡先情報
- SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内 以下の操作で、処理を続けてください。
 - サポート態勢のページを開く [▶ページ 208]

バージョン情報 SICAT Suite	
<u>√</u> 4 + 1 1 + 3 1 1	
連絡先情報 ジフトウェアサポート ソフトウェアサポートを得るには、ローカルサポートにご連絡ください。 ウェブサイト <u>www.sicat.com/suitesupport</u> 取扱説明素 SICAT 7Jリケーションの取扱説明書はダウンロードするか、無料の紙媒体の取扱説明書を注文できます。このことは、SICAT Suiteのユーザーインターフェースでの支援されていない言語にも当てはまります。 ウェブサイト <u>www.sicat.com/suitemanuals</u>	
サポートソール 9.274.6編 ログフィル SGXT Suite O編編 グロニクル 参示する	
	j

37.1 サポート態勢のページを開く

SICAT Suite の情報 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

- 1. **ヘルプ**のアイコンをクリックします。
- 2. SICAT Suite の情報項目をクリックします。
- ▶ SICAT Suite の情報 のウィンドウが開きます。

SICAT Suite の情報ウインドウは次のタブで構成されています:

- **サポート** これに関する情報は*サポート [▶ページ 207]*を参照してください。
- インフォメーション これに関する情報はインフォメーションを参照してください。

37.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウインドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およ びツールが含まれています。

バージョン情報 SICAT Suite	1
7#+ (7784-947)	÷.
連絡先情報	2
ソフトウェアサボート ソフトウェアサボートを得るには、ローカルサボートにご連絡ください。 ウエブサイト www.sicat.com/suitesupport	2
数数kiB排書 SICATプリケーションの取扱説用書はダウンロードするか、無料の紙属体の取扱説用書を注文できます。このことは、SICAT Suiteのユーザーインターフェースでの支援されていない言語にも当てはまります。 92.プタイト www.sicat.com/suiternamula	
サポートツール	 3
システム情報 表示する ログフィイル デオのかりを開く	-
SIC/AT Suite の情報 プロンクル グロンクル 本市ま本	
1 サポートのタブ 3 サポートツールエリア	

2 連絡先情報エリア

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。 次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Function では、システム情報エリアで、表示するボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Functionでは、ログファイルエリアで、ディレクトリを開くボタンをクリックする と、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Function では、SICAT Suite の情報エリアで、ディレクトリを開くボタンをクリック すると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポート します。
- SICAT Suite の情報エリアでボタン通知を表示するをクリックするとSICAT Functionが通知 ウィンドウを表示します。

37.3 インフォメーション

インフォメーションタブでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICAT アプリケーション経由で情報が表示されます。

バージョン情	報 SICAT Suite		
サポート イン	フォメーション		
SICATS	UITE		
バージョン / LOT	V2.0.40		
ENF	2.0.21292.60130		
著作権	© 2021 SICAT GmbH & Co. KG - 版権所有。		
₩ 1 メーカー	SICAT GmbH & Co. KG, Friesdorfer Str. 131-135, 53175 Bonn, Gi www.sicat.com	irmany.	
	* * *		
Radiological Visu	alization Software for Diagnosis and Dental Treatment Plar	ning	
SICAT Functionは	口腔顎顔面颌域の画像情報の視覚化とセグメンテーションと顎運	動の表示を行うソフトウェアです。画像情報は医療スキャナ(CT/CBCT/光学印象システムスキャナなど)で取得します。運動情報はコンダイログラフ装置などで取得します。SICAT	
Functionは、口腔	顎顔面外科(MKG)領域における評価、診断、治療計画および	咀嚼器官の問題の治療計画を行う資格のある歯科医をサポートするものです。計画データはSICAT Functionからエクスポートすることができ、治療の実施のために使用されます。	
MD SICAT Functi	onは医療用製品です。		
	V2.0.40	(€ 0197	
	+D776FUNCTIONV20400/\$\$7V2.0.405		
著作権	© 2021 SICAT GmbH & Co. KG 一 版權所有。		
 メーカー	SICAT GmbH & Co. KG, Friesdorfer Str. 131-135, 53175 Bonn, I www.sicat.com	iernany,	
医療機器製造販	売認証番号:227AABZ100055000		
販売名	:シーキャット JMT+		
一般的名称	: 歯科用下顎運動測定器		
分規	:管理医療機器 特定保守管理医療機器		
			閉じる

38 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

SIDEXIS 4モジュールとしてインストールしたSICAT Functionでは、データとして変更や保存は できませんが、確認が可能なものがありますが、いずれのデータがそれに該当するのかは、ライ センスのステータスに応じて異なります。

SICAT FUNCTIONライセンスの種類	変更せずに参照することはできますか?
なし	無
ビューア	有
フルバージョン	有、患者記録がロックされている場合

以下の場合はビューアライセンスがなくてもSICAT Function のスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Functionのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上の データをSIDEXISにインポートします。SICAT Function このコンピューター上にインストー ルされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部に SICAT Functionのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。 他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Functionの 後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。

SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピュータがネットワークに接続す る環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によって は、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4 は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この結果 の1つは、SIDEXIS 4がデータセットを開くときに、データセットがすでに 使用中かどうかを確認することです。この場合、SICAT Suiteのデータセッ トはビューアモードで読み取り専用モードで開き、SICAT Functionスタデ ィの変更を保存できません。

変更や保存が不可能な状態でデータを開くには、次の手順で行います。

- SICAT Suiteを3D X線撮影画像と一緒にSIDEXIS 4から起動します。これに関する情報は SICAT Suite をスタートする [トページ 43]を参照してください。
- ▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS 4検査からビューア モードで開きます。
- ▶ これがSIDEXIS 4からの最初のデータ転送で、SIDEXIS 4の設定がSICAT Suiteの設定と互換性がある場合、SICAT FunctionにSIDEXIS 4からボリューム方向とパノラマ曲線が転送されます。これに関する情報はボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する [▶ページ108] を参照してください。







- 現時点で開いているスタディの左上隅にある**閉じる**ボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteが閉じます。
- ► SICAT Suiteでは、SICATの各種アプリケーションのうち、フルバージョンで実行させているものすべてで、変更後の治療計画プロジェクトがSIDEXIS 4に保存されます。

40 ショートカットキー

マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Functionは機能の名称 に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボード にコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一 度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェク トグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する(測定の追加など)
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書 が開いている場合、 サポート ウィンドウが開 きます。

次のショートカットキーはSICAT Functionの**下顎のセグメンテーション**ウインドウで使用するこ とができます。

ショートカットキー	説明
Ν	ナビゲーション
М	下顎骨をセグメントする
F	窩をセグメントする
В	背景をセグメントする

41 SICAT SUITEのアンインストール

SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライ センスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはア ンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告しま す。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アン インストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情 報はワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ペー ジ 56]に記載されています。



アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じて しまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認し てください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector* [>ページ191]の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

- ☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。
- Windowsコントロールパネルでプログラムおよび機能をクリックします。
 プログラムおよび機能のウィンドウが開きます。
- 2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれるSICAT Suite項目を選択します。
- 3. アンインストールボタンをクリックし、確認メッセージで確認してください。
 - ▶ アンインストールプログラムが起動します。
 - ▶ アンインストールが終了すると、確認ウインドウが開きます。
- 4. 終了するのボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。



42 安全に関する注意事項

3D X線撮影図

▲ 注意	不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につなが るおそれがあります。 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置 で撮影したものに限定してください。
	不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招く
注意	ことになりかねません。 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認 してください。
	DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断およ
	び治療になるおそれがあります。
注意	利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されている X線撮影装置で撮影したものに限定してください。

表示条件

▲ 注意	表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれ があります。 SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認し
	てください(例えば、SMPTEテストビューで)。
Â	環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になる おそれがあります。
注意	1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してく ださい。例えば、照明が十分であるか確認してください。
	2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。
 3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



ネットワーク

▲ 注意	SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイ ルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがありま す。 ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネッ トワークファイルシステムに保存できるようにしてください。
<u>♪</u> 注意	SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つ のコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供 用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれ があります。
	ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規 則を作成してください。


オペレーターの資格

A	資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および 治療につながるおそれがあります。
注意	ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってくださ い。

安全性

▲ 注意	情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正 なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグ リティに関するリスクの原因になるおそれがあります。 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、 それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹 底してください。
	2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行 してください。
	3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。
▲ 注意	ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報 およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがありま す。
	ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。
▲ 注意	サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスに つながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関す るリスクの原因になるおそれがあります。
	お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかか わるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連 絡ください。

ソフトウェアインストール

▲ 注意	 ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが 起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。 1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。 2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。
▲ 注意	お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果と して、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能 しない可能性があります。 ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウ ェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。
▲ 注意	不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアア ップデートが失敗する原因になる場合があります。 ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシス テムに十分な承認があることを確認してください。

注文

▲ 注意	注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性がありま す。 注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認して ください。
▲ 注意	注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。 1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。 2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

顎運動データ



▲ 注意	不適切な顎運動データ用機器を使用すると、間違った診断および治 療になるおそれがあります。 必ず医療機器として承認されている機器の顎運動データを使用してくださ い。
▲ 注意	使用目的に適合しない顎運動撮影機器を使用すると、間違った診断 および治療につながるおそれがあります。 必ずSICAT Functionで顎運動データの利用をカバーするという使用目的に 適合する顎運動撮影機器を使用してください。
▲ 注意	対応していない顎運動撮影機器または互換性のない記録装置を使用 すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。 顎運動データの記録にあたり、顎運動の記録機器(例えば、SICAT JMT⁺) と、これに適合する、採得用の器具(例えば、SICAT Fusion Bite)をコン ビにしますが、これは、SICAT Functionがサポートするものを使用し、ま た、それ以外の機器や器具によるデータは、利用しないでください。
▲ 注意	間違って撮影された顎運動データおよび3D X線撮影画像を使用する と、間違った診断および治療になるおそれがあります。 顎運動データおよび3D X線撮影画像は、各機器のメーカーの指示に従って 撮影してください。指定されたタイプの参照オブジェクトを使用してくだ さい。
▲ 注意	3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない顎運動データを使用する と、間違った診断および治療になるおそれがあります。 顎運動データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日 付と一致していることを確認してください。
▲ 注意	顎運動データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違 った診断および治療になるおそれがあります。 インポートした顎運動データのインテグリティと品質を確認してくださ い。
▲ 注意	顎運動データの品質、正確性、解像度が十分でない場合、間違った 診断および治療になるおそれがあります。 必ず目的とする診断および治療のために十分な品質、解像度、正確性の顎 運動データを利用してください。

▲ 注意	過度なアーチファクト、不十分な解像度、または3D X線撮影画像の 品質が十分でない場合、マーカーおよび参照オブジェクトを認識す るメカニズムにエラーが生じるおそれがあります。例:3D X線撮影 画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファク トです。 必ず正確なマーカー/参照オブジェクト認識を可能にする3D X線撮影画像 を使用してください。
▲ 注意	参照オブジェクトの位置、タイプ、配置が間違っていると、間違っ た診断および治療になるおそれがあります。 JMTウィザードが参照オブジェクトを認識した後、3DX線撮影画像を考慮 しながら、参照オブジェクトの位置、タイプ、配置が正しいか確認してく ださい。
▲ 注意	間違って記録された顎運動データおよび3D X線撮影画像を使用する と、間違った診断および治療になるおそれがあります。 記録された顎運動データが3D X線撮影画像に対して正確に配置されている か確認してください。

光学印象

	3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結 果として、診断や治療を誤ることになりかねません。
▲ 注意	1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮 影画像を優先させてください。
	2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用 してください。
<u>♪</u> 注意	不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療に なるおそれがあります。 必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してくだ
	さい。
Â	3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用す ると、間違った診断および治療になるおそれがあります。
注意	患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付 と一致していることを確認してください。



セグメンテーション

▲ 注意	3D X線撮影画像の過度なアーチファクトまたは不十分な解像度は、 セグメンテーションプロセスの失敗または不十分な結果につながる おそれがあります。例:3D X線撮影画像の過度なアーチファクト は、モーション/メタルアーチファクトの可能性があります。
	解剖学的構造関連のセグメンテーションの品質が十分である3D X線撮影画 像のみ使用してください。
	セグメンテーションの品質が十分でない場合、間違った診断および 治療になるおそれがあります。
注意	セグメンテーションの品質が使用目的に対して十分であるか確認してくだ さい。

43 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 µm
角度測定の精度	<1度
表示精度	< 20 µm
顎運動データに関する表示の正確性	0.6 mm以下

用語集

ADA

American Dental Association(米国歯科医師会)

FDI

Fédération Dentaire Internationale(国際歯科 連盟)

Hub

サーバーとして機能し、ローカルネットワーク 上の異なるデバイス間でデータを交換できるよ うにする外付けストレージ。

SICAT JMT⁺

SICAT JMT⁺は下顎の動きを記録します。

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにスプリントを注文す ることのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマッ ト。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers(映画テレビ技術者協会)

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマッ ト。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデー タを交換するための標準ファイルフォーマット (例えば、光学印象を含む)。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれも SICAT Suiteに付属するプログラムです。 バイトフォーク

バイトフォークは、SICATが3D X線撮影画像の データと顎運動データを一致させるために使用 するX線不透過性マーカー付きバイトプレートで す。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの 位置が表示されます。

計画プロジェクト

計画プロジェクトは、SICATアプリケーション の3D X線撮影画像をベースにした計画データで 構成されます。

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D 表面撮影の結果です。

撮影結果

3D治療計画スタディは、3DX線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメ ッセージを、モニター画面の右下端に表示する ものをいいます。

索引

アイコン

ビュー	81
トリミング部分を移動させる	88
十字線、フレーム	90
輝度およびコントラスト	86
最大化と復元	85
スクリーンショットの作成	95
スクロール	89
ズーミング	88
リセットする	94
アプリケーションを切り替える	46
ワークスペース	
調整する	79
ワークスペースのツールバー	61
MPR/放射性	77
パノラマ	74
スクリーンショットの作成	80
SIDEXIS 4の出力ページヘスクリーンショッ	トを
追加する	80
リセットする	79
ユーザーインターフェース	
SICAT Function	60
SICAT Suite	45
このバージョンの特徴	32
注文	
再起動後の自動アップロード	192
アップロードの中断および続行	192
SICATポータル	190
スプリントをショッピングカートに入れる	183
運動の軌跡	
検査ウィンドウにより調整する	157
運動経路	
十字線により調整する	158
CEREC	
咬合器値	165
CEマーキング	228
データを書き込み禁止で開く	211
データエクスポート	179
設定	
SICAT Function設定の表示または変更	206
可視化設定の変更	204
Firewallの設定	
WebConnector	11
Hub	

Hub接続状態を表示する	203
JMTエリア	153
ブックマークを管理する	154
顎運動データ	120
機器	121
インポートして記録する	123
下顎骨をセグメントする	128
測定	
距離測定を追加する	174
測定点を移動する	177
測定値を移動する	177
概要	173
移動	177
モジュールを登録する	
SIDEXIS 4	39
モニターキャリブレーション	200
オブジェクト	
SICAT Functionオブジェクト	70
閉じる	212
スクリーンショット	
ビューで作成する	95
ワークスペースを使って作成する	80
セグメンテーション	127
下顎骨をセグメントする	128
SICAT Function	
ユーザーインターフェース	60
SICAT Functionのスタディ	
SIDEXIS 4内	42
SICATポータル	190
SICAT Suite	
ユーザーインターフェース	45
閉じる	212
インストールする	21, 25
開始する	43
更新する	30
修理する	31
SICAT Suiteの概要	18
SICAT WebConnector	191
安全に関する情報	13
危険レベル	14
オペレーターの資格	15
SIDEXIS 4	
モジュールを登録する	39
フェーズバー	40

ワークスペースのスクリーンショットを追加	す
る	80
SICAT Functionのスタディ	42
タイムライン	44
ビューのスクリーンショットを追加します	95
SMPTEテストパターン	200
STLインポート	143
サポート	207
サポートウィンドウを開く	208
TMJワークスペース	
Bonwillの三角を利用する	162
上下顎中切歯の交点をセットする	161
セグメンテーション限度の表示	163
軌跡点を移動する	160
TMJワークスペース	76
一般的なお知らせ	75
下顎頭を中心に顎運動を表示する	164
機能	159
咬合器值	165
	228
切替	0
アプリケーション	46
バージョン	
様々な	32
WebConnector	
Firewallの設定	11
ワークフロー・ステップ	
注文する	63
診断する	63
準備する	62
ワークフローのツールバー	62
運動経路	152
3D ビューで表示する	156
横長ビュー	
傾斜	93
解剖学的な咬合	152
開始する	
SICAT Suite	43
顎運動データ	
エクスポートする	155
解剖学的運動経路を再生する	153
静的な顎関係または顎運動を選択する	153
患者の対象グループ	6
禁忌	6
傾斜	
ビュー	93
検査ウィンドウ	
パノラマワークスペースで	73

最大化する 非素示 /表示	91 91
→我小/我小 書語	10
	10
ルナロ家 CEDECのフセャンジョブをHubに送信する	1/10
	127
	142
STL1 ンホート インポートリート	143
	134
	134
カラー表示する	107
ファイルからインボート	141
概要	134
記録と確認	148
計画および実施の基礎として	134
他のSICATアプリケーションから再使用する	146
更新	
SICAT Suite 30), 31
更新する	
SICAT Suite	30
最初のステップ	36
最大化する	
検査ウィンドウ	91
削除する	• -
オブジェクト	68
使田日的	6
使用日前 取扱当旧 事	0
取扱就労告 問/	47
	47
記ち、スダイル	10
取扱説明書の概要	17
修理する	
SICAT Suite	31
縦長ビュー	
傾斜	93
切替	
光学印象のカラー表示	107
接合	
Hub	203
接続設定	
WebConnector	11
設定	
クリニック情報を表示または変更する	202
一般的な設定内容を確認する、変更する	198
概要	197
測定	101
角度測定を追加する	175
プロスパスト にによう ひ ひをつしまし	т 1 О
とうぎ トレン ション ション ション ション ション ション ション ション ション ショ	0
	100
リートをナエツクする	ταα

データを別のコンピュータから送信する	193
バックグランドでのデータ送信	189
ワークフローの概要	180
治療位置に上書きする	181
治療位置の設定	181
治療位置をキャンセルする	181
調整する	
パノラマ エリア	116
ボリュームの配置	111
適応症	6
非表示	
オブジェクト	67
検査ウィンドウ	91
表示	
オブジェクト	67
検査ウィンドウ	91
変更	
パノラマ エリア	116
ボリュームの配置	111
容量	
配置する	111
用途	6
臨床的有用性	7
咬合器值	
一般的なお知らせ	165
下顎頭が視認可能な時に読み込む	169
下顎頭が視認不可能な時に読み込む	171
窩をセグメントする	131

数字

3D X線データ	
配置する	111
3Dビュー	
切り抜きを移動する	105
表示モードを切り替える	102
表示タイプ	100
3Dビュー	96
光学印象のカラー表示を切り替える	107
構成設定を行う	103
視線方向を変更する	97

あ

アイコン	228
アンインストール	214

い

インストール	
SICAT Suite	25
SICAT Suiteのセットアップ	21
アンインストール	214
システム要件	10
インストールする	
SICAT Suite	25
SICAT Suiteのセットアップ	21
システム要件	10
インストールの概要	20

お オフ

オブジェクト	
オブジェクトアクションを元に戻し、も	う一度
実行する	68
オブジェクトおよびオブジェクトグルー	プの表
示/非表示	67
オブジェクトおよびオブジェクトグルー	プをア
クティブにする	66
オブジェクトグループの開閉	66
オブジェクトツールバー	68
オブジェクトバー	64
削除する	68
焦点を合わせる	68

か ヵ-

ート	
開く	187

さ

ナポート	
ツール	209
ヘルプを開く	47
製品情報	210
連絡先情報	209

し

システムの必要条件	10
システム要件	10
ソフトウェア要件	11
ハードウェア要件	10
ショートカットキー	213

せ	
セグメンテーション	
窩をセグメントする	131

そ

ソフトウェアインストール	
SICAT Suite	21, 25

は

パノラマ エリア	109
SIDEXIS 4から転送	33, 110
調整する	116

ひ

ビュー	
画像のツールバー	82
傾斜	93
検査ウィンドウの移動	91
検査ウィンドウを非表示、表示、	および最大化
する	91
切替	84
ビルド番号	228

ほ

ボリュームの配置	108
SIDEXIS 4から転送	33, 110
調整する	111

6

ライセンス	48
ライセンスプールに返却する	56
自動アクティベート	52
手動でアクティブ化する	54
表示する	51

ろ

ロット米中	228 228
	220, 220

わ

ワークステーション	23
ワークスペース	72
ТМЈ	75
切り替える	78
ワークフロー	36

記号の説明

アイコン



i

www.sicat.com/suitemanualsで使用するための電子指示に従ってください。

ビルド	ビル	ド番号
C///	$L \nu$	「宙ち

メーカー

UDI 機器固有識別子(Unique Device Identifier)

注意!添付書類を参照してください。



LOT ロット番号



€€0197

TÜVRheinland LGA Products GmbH、Tillystrasse 2、90431ニュルンベルクの届出機関番号を含むCEマーキング

ソフトウェアのロット番号

ソフトウェアに表示されているソフトウェアロット番号。これに関する情報は*インフォメーション [*> ページ 210]を参照してください。

V2.0.40

生産データ

ソフトウェアの製造日は、ソフトウェアに表示されているビルド番号から読み取ることができます。これに関する情報は*インフォメーション [>ページ 210]*を参照してください。

ビルド番号の例:



1 ソフトウェアの製造年 (18は2018年を表します)

2 ソフトウェアの製造日 (001は1月を表します)

状態: 2021-12-02

お問い合わせ先



SICAT GMBH & CO. KG FRIESDORFER STR. 131-135 53175 BONN、ドイツ WWW.SICAT.COM

CE0197

文書ID: DA70IFU023

世界各地のサポート WWW.SICAT.COM/SUITESUPPORT

© 2021 SICAT GmbH & Co. KG

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書につき ましては、翻訳を含め、全部または一部の別を問わず、 複写をお断りいたします。ただし、SICAT社が書面によ り承諾している場合を除きます。

本取扱説明書に記載されている情報は発行当時のもので あり、予告なしに変更される場合があります。

© 2021 Dentsply Sirona

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書のいく つかのスクリーンショットはDentsply Sironaソフトウ ェアSidexis 4のユーザーインターフェースの一部を示し ています。

言及または表示されたすべての製品、ブランド、および ロゴはそれらの各所有者に帰属します。

医療機器製造販売認証番号	号:227AABZI000550	00	
販売名	:シーキャット J	M T +	
一般的名称	:歯科用下顎運動測	定器	
分類	:管理医療機器 特	定保守管理医療機器	
選任外国製造医療機器等勢	製造販売業者	外国特例認証取得者	
デンツプライシロナ株式会	会社	Sirona Dental Systems GmbH	
東京都港区麻布台1-8-10	麻布偕成ビル	(ドイツ連邦共和国)	
		外国製造業者	
		SICAT GmbH & Co. KG	
		(ドイツ連邦共和国)	_
L		·	SICAT